

# 履修のてびき

# 2026

## 世田谷キャンパス 4年次生用


応用生物科学部・生命科学部・地域環境科学部・国際食料情報学部

### 目次

目次の項目をクリックすると各ページのトップに遷移します

またリンクを設定しているところにはアイコンをつけています

 : PDF 外リンク

 : 各ページリンク

#### はじめに

大学において学修するための基礎知識	2
学部・学科等の名称の短縮表示・表示順	5
2026年度 年間授業計画	6
2026年度 授業日一覧	7

#### 履修登録

<b>1</b> 履修登録について	8
<b>2</b> 大学間の協定に基づく科目の履修	21
<b>3</b> 履修登録の方法	22

#### 各種ツール使い方・マニュアル

<b>4</b> 学生ポータル	28
<b>5</b> WebClass	33
<b>6</b> 教材フォルダ	39
<b>7</b> 遠隔授業の受講方法	40
<b>8</b> Forms	41

#### 資料

<b>9</b> 履修モデル	42
<b>10</b> 1号館 フロアマップ	58
<b>11</b> 農大サイエンスポート フロアマップ・学部事務室連絡先	59
<b>12</b> キャンパスマップ (世田谷)	60
<b>13</b> 実験・実習・演習室短縮名称	61



# 大学において学修するための 基礎知識

## I 「履修する」ということ

—所属する学科の課程を学修し修めること—

各学科の課程には、「必修科目（所属する学科で必ず履修しなければならない科目）」とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学修目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学修するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくこととなります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学修に主体的に取り組んでください。

## II 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年を前学期（15回）と後学期（15回）の2学期に分け、学期ごとに、配当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します（一部科目を除く）。卒業までには、2学期×4年＝8学期あります。卒業までの4年間の履修計画を立て、そして年度ごとに修正しながら、各学期の配当科目を学修していくことが大事です。

## III 大学の授業科目は単位制

—学修時間と単位の関係—

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、授業における学修時間数と授業以外での学修時間数（予習・復習の時間）の合計で決まります。

2単位を修得するためには、以下の時間数が必要とされます。

授業科目 1コマ＝2時間／週（本学では90分）×15回

修得のための予習復習時間＝4時間／週×15回

例えば、前学期で22単位（11科目）履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×11＝44時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均約7時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。そこで本学では、年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています。

※詳細は [□「\(4\) 履修登録単位数」\(11ページ\)](#) を参照

# Ⅳ カリキュラム (学修体系) の特長

## —いろいろあるのが本学の特長—

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び入学してきました。本学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして自信を持って皆さんを社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛り込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

### 1. 科目の区分

#### 【必修科目】

各学科に配当された授業科目のうち、必ず修得しなければならない科目です。必修科目は、必ず履修して合格の成績評価を受けないと卒業できません。

1 つでも不合格だと卒業できません。

#### 【選択必修科目】

各学科に配当された授業科目のうち、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

#### 【選択科目】

各学科に配当された授業科目のうち、皆さんの意思により選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目です。

より専門性を修得するための科目で、自由に選択できます。

### 2. 学修体系の特長

#### 【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目】

本学のカリキュラムは、**総合教育科目・外国語科目・専門教育科目**の3つに大別されます。

※詳細は、🔗「学生生活ハンドブック」の履修編「授業科目の概要」を参照してください。

#### 【英語による専門教育プログラム】

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。

本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。

グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。

自分の英語の実力アップを計りながら自分のレベルに合った科目へ挑戦してください。

#### 【教職課程・学術情報課程】

教員免許状取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。

これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

# V 履修登録する

— 選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっている —

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

## 1. 自分の学修体系を決める

卒業までの4年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた計画を立ててください。在学学生は、学生ポータル、教務掲示「あなたの履修」をもとに、自分の学修体系を再確認してください。前年度までの学修計画を再検討する良い機会でもあり、さらに方向修正もできます。

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎・教養 専門基礎	知識・技術の習得 応用、専門基礎	研究テーマ設定 専門分野の研究	卒業論文作成 就職・進学に向けた活動
3年次からの研究に向けて基礎を身につけ、 自分の興味・関心を絞り込む		研究室に所属し、 研究スタート	卒業論文の作成 就職活動、進学準備

## 2. 科目名をチェック⇒科目名で大体の内容をイメージ

## 3. シラバス（講義要項）をチェック⇒科目の講義内容を確認

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が記載されていますので、活用してください。

## 4. 履修登録⇒履修登録期間を確認

前学期の履修登録期間・履修修正期間に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。

**後学期の履修登録期間・履修修正期間では、後学期科目のみ追加・削除・変更が可能です。**

前学期集中科目と後学期集中科目も、履修登録期間・履修修正期間のみ履修登録が可能です。履修登録にあたっての注意事項を、11ページ以降に記載していますのでよく確認してください。

**【重要】履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。**

**⚠️ 忘れず、また間違いのないよう慎重に登録してください。**

# VI 学生の皆さんへの注意事項

— 自分のことは自分で、責任を持って —

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルを確認する習慣をつけてください。
3. 期限は厳守してください。**(期限後は受け付けません)**
4. 教務課窓口の業務時間【平日（授業期間）】8：30～19：30 **(時間外は受け付けません)**

## 学部・学科等の名称の 短縮表示・表示順

本学では、学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示などの順番も原則として次のように行います。

学部・学科等名称	短縮表示
<b>農学部</b>	農学部
農学科	農学
動物科学科	動物
生物資源開発学科	資源
デザイン農学科	デザイン
<b>応用生物科学部</b>	応生学部
農芸化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
<b>生命科学部</b>	生命学部
バイオサイエンス学科	バイオ
分子生命化学科	生化
分子微生物学科	微生物
<b>地域環境科学部</b>	地域学部
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
地域創成科学科	創成
<b>国際食料情報学部</b>	国際学部
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
アグリビジネス学科	ビジネス
国際食農科学科	食農

学部・学科等名称	短縮表示
<b>教職課程</b>	教職
<b>学術情報課程</b>	学情
全学共通科目	全学
英語による専門教育 プログラム	英語専門
新カリキュラム	新カリ
旧カリキュラム	旧カリ

## 2026年度 年間授業計画

月	日(曜日)	行事予定
2026	2日(木)	入学式
	3日(金)～10日(金)	新入生ガイダンス・健康診断 在学生ガイダンス・健康診断 新入生オリエンテーション 等
4	13日(月)	前学期授業開始(7/17まで)
	30日(木)	【休講日】
5	1日(金)	【休講日】
	6日(水)	【授業日】 憲法記念日振替休日
	18日(月)	【授業日】 大学の記念日
6	6日(土)	教育後援会教育懇談会
7	17日(金)	前学期授業終了
	20日(月)～24日(金)	前学期定期試験(7/20 海の日は定期試験を実施)
	27日(月)	
8	3日(月)～7日(金)	追試験 夏季集中授業、各種教育プログラム
	上旬	前学期科目の評価開示 教育後援会地域懇談会
9	23日(水)	後学期授業開始(1/22まで) 秋季学位記授与式
	24日(木)	
	30日(水)	
10	12日(月)	【授業日】 スポーツの日 準備・開会式 10/29 収穫祭 10/30～11/1 体育祭 11/2 後片付け 11/3 東京農業大学ホームカミングデー
	29日(木)	
	31日(土)	
11	3日(火)	【授業日】 勤労感謝の日
	23日(月)	
12	22日(火)	休冬
2027	11日(月)	後学期授業再開 卒業論文題目届の提出期限(3年次生) 【休講日】 大学入学共通テスト準備日 【入構禁止】 大学入学共通テスト 【補講日】 後学期授業終了 後学期定期試験 卒業論文の提出期限(卒業年次生)
	12日(火)	
	14日(木)	
	15日(金)	
	16日(土)・17日(日)	
	20日(水)・21日(木)	
	22日(金)	
	25日(月)～29日(金)	
29日(金)		
2	8日(月)～12日(金)	追試験(2/11 建国記念の日は追試験を実施)
	下旬	後学期科目の評価開示
3	5日(金)	卒業確定者及び進級確定者の発表
	6日(土)	学校法人の創立記念日
	20日(土)	学位記授与式

注：上記スケジュールは予定であり、変更することがあります。変更が生じた場合は、随時、学生ポータルにて周知します。

## 2026年度 授業日一覧

学期	前学期						
曜日		月	火	水	木	金	
授業日	1	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	
	2	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	
	3	4月27日	4月28日	※5月6日	5月7日	5月8日	
	4	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	
	5	※5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	
	6	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	5月29日	
	7	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	
	8	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	
	9	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日	
	10	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日	
	11	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	
	12	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	
	13	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	
	14	遠隔授業(7/17までに2回分を実施)					
	15						
定期試験		※7月20日	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	
追試験		8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	

※下記の祝日は授業日ですので、注意してください。

5月6日(水) (憲法記念日振替休日)、5月18日(月) (大学の記念日)、7月20日(月) (海の日)

学期	後学期						
曜日		月	火	水	木	金	
授業日	1	9月28日	9月29日	9月30日	9月24日	9月25日	
	2	10月5日	10月6日	10月7日	10月1日	10月2日	
	3	※10月12日	10月13日	10月14日	10月8日	10月9日	
	4	10月19日	10月20日	10月21日	10月15日	10月16日	
	5	10月26日	10月27日	10月28日	10月22日	10月23日	
	6	11月9日	11月10日	11月4日	11月5日	11月6日	
	7	11月16日	11月17日	11月11日	11月12日	11月13日	
	8	※11月23日	11月24日	11月18日	11月19日	11月20日	
	9	11月30日	12月1日	11月25日	11月26日	11月27日	
	10	12月7日	12月8日	12月2日	12月3日	12月4日	
	11	12月14日	12月15日	12月9日	12月10日	12月11日	
	12	12月21日	1月12日	12月16日	12月17日	12月18日	
	13	1月18日	1月19日	1月13日	1月14日	1月22日	
	14	遠隔授業(1/22までに2回分を実施)					
	15						
定期試験		1月25日	1月26日	1月27日	1月28日	1月29日	
追試験		2月8日	2月9日	2月10日	※2月11日	2月12日	

※下記の祝日は授業日ですので、注意してください。

10月12日(月) (スポーツの日)、11月23日(月) (勤労感謝の日振替休日)、2月11日(木) (建国記念の日)

※1月20日(水)・21日(木) は、補講日です。

# 1 履修登録について

## (1) 履修登録の流れ

概要	前学期	後学期	行うべきこと
ガイダンス 履修計画	4月上旬		ガイダンスの内容や、資料を参考に履修計画を立てる
授業開始	4月13日	9月24日	履修計画に沿って授業に出席する (履修確定前の授業も出席してください)
履修登録期間	4月13日 } 4月17日	9月14日 } 9月17日	履修登録前に学生ポータルでの「住所等の登録」が必須です ☑「3 履修登録の方法」(22~27ページ)に沿って登録する (履修確定前の授業も出席してください)
※後学期は授業開始前に実施予定			
履修開示	4月22日	9月25日	学生ポータル「あなたの履修」にて正しく登録されているか必ず確認する
履修修正期間	4月23日 } 4月27日	9月28日 } 10月1日	必要に応じて履修登録の方法に従い学生ポータル「履修登録(修正)」から履修修正する <b>⚠ 期限以降はいかなる理由であっても授業開始している学期の科目の履修は修正できません。</b>
履修開示	5月8日	10月6日	学生ポータル「あなたの履修」にて履修修正が反映された最終的な内容が表示されているか必ず自分で確認する
日程変更が生じた場合は、学生ポータルでお知らせします。			

必修科目だけを履修予定の場合も！

**全学生が必ず各自で履修登録し、登録内容を確認してください。**

次の9ページ以降に登録にあたっての重要な説明を掲載していますのでよく確認して、☑「3 履修登録の方法」(22ページ)の手順に従って履修登録してください。

## (2) 履修登録の基礎知識

### 履修に関するキーワード

履修登録のために必要な以下の主なキーワードを理解しておきましょう。

キーワード [例]	説明
必修科目 [授業科目配当表：必]	各学科に配当された授業科目のうち、「授業科目配当表」の区分欄に「必」と記載しており、すべて必ず修得しなければならない科目です。 卒業要件単位数は各学科ごとに異なります。また履修登録画面では予め自動登録されています（通常の進級時のみ）。
選択必修科目 [授業科目配当表：選必]	各学科に配当された授業科目のうち、限定された科目群ごとに指定された単位数を修得しなければならない科目です。 卒業要件単位数は各学科ごとに異なります。「授業科目配当表」の区分欄に「選必」と記載しており、表外の注意書きに具体的な要件を示しています。それを満たすように修得しなくてはなりません。
選択科目 [授業科目配当表：空白＋注意書き]	各学科に配当された授業科目のうち、各自の希望進路や学修目的、興味などの意思により自由に選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目です。 卒業要件単位数は各学科ごとに異なります。「授業科目配当表」の区分欄を空白で示している科目に、表外の注意書きで示した科目の単位数を含めることができます。
開講番号・履修番号 [S0000]	アルファベット＋数字 4 ケタ科目ごとに設定された管理番号です。同じ科目名でも他学科の科目などを見分けるためにも用います。 アルファベットの S = 世田谷キャンパスの開講科目、A = 厚木キャンパスの開講科目です。K = クラス分けが決定していない必修科目を自動登録している仮履修番号です。クラスが決まり次第、正規開講番号と入れ替えます。
科目名 (一)・(二)	科目名＋(漢数字) [例「生化学 (一)】などの漢数字はその科目が別内容の科目であることを表しています。科目によっては数が大きいほどレベルが高いことを示している場合もあります。
科目名 (応生)・(生化)	科目名＋(学部・学科短縮表示) [例「生物学 (栄養)】は学部・学科を指定している科目です。( ) 内の学部・学科の所属学生以外は履修できません。 <a href="#">□「学部・学科短縮表示」(5 ページ) 参照</a>
科目名 Aクラス・Bクラス	科目名＋アルファベットクラス [例「数学演習 Aクラス】はクラス分けをしている科目で、各自の時間割に合わせてクラスを選択できます。ただしクラスを指定する科目が一部あります。
科目名【旧カリ補講】	科目名＋【旧カリ補講】 [例「経済入門【旧カリ補講】】は 2023 年度以前の入学生に適用される旧カリキュラムの科目であることを示しています。よって 2023 年度以前の入学生のみが履修でき、2024 年度以降の入学生は履修できません。なお、一部の科目は 2024 年度以降の入学生に適用される新カリキュラムと同時限りに開講されます。その場合はそれぞれの入学年度のカリキュラムで履修登録してください。
集中科目	曜日・時限を固定した科目とは異なるスケジュールで実施する科目を指しています。前学期集中、後学期集中、通年集中の 3 種類あります。詳細は集中開講科目日程表に掲載していますが、学期開始時に日程や詳細が決まっていない科目もあるので履修登録には注意が必要です。
カリキュラム (教育課程)	各学科ごとに設定されており、それに沿って 4 年間で開講する科目と卒業要件単位数を「授業科目配当表」として示しています。なお 2026 年度時点では 2024 年度以降の入学生に適用される新カリキュラムと 2023 年度以前の入学生に適用される旧カリキュラムの両方が運用されており、履修できる科目や内容も異なるため注意が必要です。
シラバス (講義要項)	各科目で行う授業の概要、到達目標、各回の進行、評価の方法などの詳細を示したもので、本学では学生ポータルで検索・閲覧できるようになっています。
ステップ制	科目の (一) (二) 数の順序に従い単位修得する科目です。一部の科目のみが指定されています。 (一) の単位を修得しなければ (二) を履修することはできません。
科目ナンバリング	採番ルールに基づく番号を授業科目ごとに付し、学修内容の順次性や科目間の関連性を示すことで、教育課程 (カリキュラム) の体系性を明確にするためのものです。シラバスに記載していますので、目的意識及び計画性を持った学修をするための参考にしてください。 ※採番ルール等については学生ポータルのキャビネットから確認できます。

### (3) 履修登録上の注意事項



#### 履修登録上の注意事項

気を付けよう！ よくある失敗・注意点

必修科目の自動登録	通常に進級した場合	在籍学年の必修科目は自動登録されます。(自分で登録する必要はありません) ※何らかの理由で自動登録された科目を変更する場合は、一度科目を削除して新たに登録する科目をその時間帯に登録してください。
	原級・留年・再入学・転学部・ 転学科・転入学及び編入学・ 学士編入学した場合	<b>卒業まで自動登録されません。</b> 毎回、各自で履修登録してください。
	必修科目を再履修する場合	<b>自動登録されません。</b> 各自で履修登録してください。

#### 隔週開講科目

同一時間に登録してください。


上級学年の配当科目	× 履修不可	自分の学年または下級学年の科目のみ履修できます。(他学科・他学部聴講の場合も同様) 例) 履修希望者が現在 2 年生の場合 ○ 1 年次：2 年次配当科目 × 3 年次：4 年次配当科目
-----------	--------	--

後学期の 履修登録期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>× 前学期科目</li> <li>× 通年・前学期集中科目</li> <li>○ 後学期科目</li> <li>○ 後学期集中科目</li> </ul>	後学期の履修登録期間には前学期科目(通年・前学期集中科目を含む)の登録・削除はできません。
----------------	---	---

#### 開講学期の変更

学生生活ハンドブックの「授業科目配当表」から開講学期が変更となり、異なっていることがあるので注意してください。時間割表に沿って履修登録してください。

#### (4) 履修登録単位数

- ① 履修登録単位数の制限（キャップ制）…  学生生活ハンドブック「履修上の注意事項」参照  
 学期ごと及び 1 年間に履修できる単位数は制限されています。これをキャップ制といいます。  
 上限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除してください。

**履修上限は、学期ごとに 22 単位まで・年間 44 単位までです。**

**ただし、栄養科学科の学生は学期ごとに 25 単位まで・年間 49 単位まで**

※リメディアル科目、専門実用科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とします。

#### ② 履修登録単位数のカウント方法

前学期科目……前学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。  
 後学期科目……後学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。  
 通年科目……単位数の 1/2 を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。  
 ※通年で 1 単位の科目は、前期 0.5 単位・後期 0.5 単位とカウントします。  
 集中科目……前学期、後学期、通年問わず、年間の単位数としてカウントします。また、通年科目のうち半期が集中の場合は集中科目の単位数としてカウントします。

例 1) 下記の単位数を登録した場合

[前学期科目：20 単位、後学期科目：18 単位、通年科目：2 単位、集中科目：4 単位]

前学期		後学期		年 間	
対象科目	単位数	対象科目	単位数	対象科目	単位数
前学期科目	20			前学期科目	20
		後学期科目	18	後学期科目	18
通年科目 1/2	1	通年科目 1/2	1	通年科目	2
				集中科目	4
前学期計	21	後学期計	19	年間計	44

例 2) いろいろな組み合わせのカウント方法

前学期・後学期も上限まで履修			
Aさん	前学期：22 単位	後学期：22 単位	年間：44 単位
通年 2 単位の科目を履修…単位数の 1/2 を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウント			
Bさん	前学期：22 単位 (通年科目：1 単位)	後学期：21 単位 (通年科目：1 単位)	年間：43 単位 (通年科目：2 単位)
通年 1 単位の科目を履修…単位数の 1/2 を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウント			
Cさん	前学期：21.5 単位 (通年科目：0.5 単位)	後学期：21.5 単位 (通年科目：0.5 単位)	年間：43 単位 (通年科目：1 単位)
集中 2 単位の科目を 2 科目履修…学期を問わず年間の単位数としてカウント			
Dさん	前学期：20 単位 (集中科目：0 単位)	後学期：20 単位 (集中科目：0 単位)	年間：44 単位 (集中科目：4 単位)

## (5) 科目ごとの制限、条件、登録方法等

## 総合教育科目 全学共通科目

## スポーツ関係科目 / スポーツ・レクリエーション (一)・(二)

## 履修登録の手順

## シラバス・時間割確認

授業実施方法、実施種目などをシラバスで確認し、自分の所属学科の曜日時限等を把握しておいてください。



## 第1回授業の受講

自分の学科の**前学期の第1回目**の授業を受講してください。後学期の(二)のみ登録する場合も同様に前学期の第1回目に出席してください。

なお第1回目の授業では運動は行いません。

(服装：私服、体育館用シューズ着用、集合：桜丘アリーナ 2F フロア)



## クラス決定

担当教員が第2回目の授業で定めている定員に合わせて履修者の決定とクラス分けを行いますので、履修希望者は必ず出席してください。履修者の定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行います。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できます。



## 履修登録

履修修正期間に登録してください。



## 教科書購入

履修できることが決定した後に購入してください。

※「共通クラス」(月曜4限)は、学科・学年問わず履修できますが、2年生以上の学生は他学科のクラスでも履修可能ですが、必ず希望するクラスの第1回目の授業に出席してください。

## 課題別科目 / 特別講義

特別講義は、学生の皆さんが幅広い教養・素養を身につけ、卒業後各方面で最大限に能力を発揮できるようになることを目的として開講します。本学の専門分野の教育は充実しており、その内容・成果に十分な自信を持っていますが、それに加えて、教養面での教育を重視する意味で、様々な内容による特別講義を開講します。

2026 年度の特別講義は、専門教育を補完し、社会に出て役立つ、さらに就職試験にも役立つ多分野の教養的講座として、世田谷キャンパスでは 8 コースを開講します。

本講義は、世田谷 6 大学コンソーシアム協定大学（国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京農業大学、東京都市大学）間において、それぞれの大学の特色ある授業科目を他大学において開講するものである。

本学では、2026 年度の世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業として、昭和女子大学の伊勢坊綾先生（ほか複数担当）による「組織行動論」、東京都市大学の小林亮太先生による「社会を支える無機材料」を開講する。（2026 年度のみ開講）

## 履修登録

- ・特別講義（一）～（四）の 4 科目は、次の A～H コースから 1 科目につき 1 コースを選んで履修登録することができます。はじめて履修する場合は「特別講義（一）」を登録し、以降は（二）・（三）・（四）の順に履修登録してください。
- ・履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。
- ・学年を問わず履修でき、開講時間が重ならない場合は複数科目を同学期中に履修することができます。ただし年度ごとに開講曜日、時限、担当者、コース内容は変更されます（同じ場合もあります）。

## コース案内

コース	学期	曜日/時限	科目名	主担当教員
A	通年	金 5～6	社会開発実践論	入江憲治
B	通年	水 5	東京農業大学 STEAM 教育講座	上岡美保
C	前学期	月 5	データサイエンス基礎	三宅修平
D	前学期	月 2	組織行動論 世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業（昭和女子大学）	伊勢坊綾
E	後学期	木 5	地域創生講座 ～地域創生の現状と課題・あるべき姿～	大林宏也
F	後学期	火 5	起業家精神と事業開発	大浦裕二
G	後学期	月 2	社会を支える無機材料 世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業（東京都市大学）	小林亮太
H	後学期	木 5	地域創成講座－農林水産産業振興によるひと育て	入江憲治

## 開講番号一覧

コース	特別講義（一）	特別講義（二）	特別講義（三）	特別講義（四）
A	S3600	S3601	S3602	S3603
B	S3604	S3605	S3606	S3607
C	S3608	S3609	S3610	S3611
D	S3612	S3613	S3614	S3615
E	S3616	S3617	S3618	S3619
F	S7600	S7601	S7602	S7603
G	S7604	S7605	S7606	S7607
H	S7608	S7609	S7610	S7611

例) 1 年後学期に D コース、3 年前学期に E コース、3 年通年で B コースを履修する場合

履修時期	1 年：後学期	3 年：前学期	3 年：通年
履修登録	特別講義（一）：D コース ⇒ S1234	特別講義（二）：E コース ⇒ S2345	特別講義（三）：B コース ⇒ S3456

## 外国語科目 全学共通科目・学部共通科目

## 基礎英語科目・実用英語科目


クラス分け	所属学部によってクラス分けの方法が異なります。決定したクラスは変更できません。各学科ガイダンス等の説明で確認してください。
履修の説明	各学科ガイダンス等で説明するので確認してください。
他学部・他学科履修	× 履修不可 外国語科目 基礎英語科目 × 履修不可 外国語科目 実用英語科目
地域環境科学部での再履修	再履修クラス（Sクラス）を履修してください。

## 初修外国語科目

応用生物科学部	× 複数の語学選択 不可	
生命科学部		
地域環境科学部		
国際食料情報学部	○ 複数の語学選択 可能	ステップ制 科目の(一) → (二) 数の順序に従い単位修得する科目

## 英語による専門教育プログラム関係科目

英語による専門教育プログラム  学生生活ハンドブック「英語による専門教育プログラム」参照

履修のすすめ	日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本および世界の食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、開講している科目です。グローバル化時代において、自分の専門分野を幅広い視点で学ぶことができ、また留学生や海外協定校学生とともに英語で学ぶ科目も多数開講しています。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強くお勧めします。
修得単位	本科目は学則第 15 条の 3 で定めるとおり、他学部・他学科において修得することができる各学部各学科に定める単位数と合わせて 30 単位以内を修得することができます。かつ、これを卒業要件に加えることができます。
ガイドライン	英語による専門教育プログラムを選ぶ際の参考資料です。表にまとめて掲載しています。  「ガイドライン一覧」(16 ページ) 参照

## 全学共通科目

日本語  学生生活ハンドブック「全学共通科目」参照

対象	外国人留学生・帰国生
修得単位	本科目は学則第 15 条の 3 で定めるとおり、他学科・他学部において修得することができる各学部各学科に定める単位数と合わせて 30 単位以内を修得することができます。ただし、卒業要件に加えることができる単位数は 16 単位を上限とします。

## 2026 年度 英語による専門教育プログラム ガイドライン一覧 (旧カリ)

科目名	項目	開講キャンパス	主な履修対象者	履修者に求める英語能力※1	難易度	履修者に求める専門性	備考
Introduction to Japanese Linguistics / 旧カリ: Edo Aesthetics and Environmental Resiliency		世田谷	全学生		中級	日本語や英語、もしくは言語一般に興味があればよい	英語で問題に回答したり、自分の分析を説明したりすることが求められる。学習意欲があれば、英語の習熟率に関わらず受入予定であるが、授業内容の理解には相当の努力を要する。
Environment and Agriculture		世田谷	全学生	初級	初級	—	
Agriculture and Economic Development / 旧カリ: Food and Environment in Economic Development		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student、協力隊希望者	中級	中級	—	英語でのプレゼンテーション・ディスカッションが必須(全員)である。
Food and Health 1		世田谷	外国人留学生、visiting student、日本人学生	中級	中級	食品、発酵および健康に興味を持ち、ある程度の専門用語を理解できること。	毎回、異なるテーマに焦点を当てたオムニバスの講義で知識を広げる。
Forest and Forestry		世田谷	全学生	英語能力よりも学ぼうとする姿勢を重視	初級	森林、樹木に関心があること	森林、樹木に関心のある学生。※学部学科を問わない。
Global Food Systems		世田谷	全学生	初級	初級～中級	一般常識と知的好奇心があれば問題ない	
Plants for Landscape Architecture / 旧カリ: Life History and Applications of Landscape Plants		世田谷	全学生	中級	中級	植物学に興味があること	現地見学を行う(休日)
Planning and Design of Landscape Architecture		世田谷	外国人留学生、visiting student	中級	中級	日本の自然環境や文化	休日を活用して現地見学を数回、実施する。大人数の引率は困難である。
Agro-Environmental Engineering		世田谷	全学生	初級	初級	—	
Comparative Developing Agriculture		世田谷	全学生	中級以上(英語でディスカッションできるレベル)	中級	国内外の農業・環境・社会・経済に興味を持つこと	英語での個別プレゼンテーションやグループディスカッションがある
Ecology and Agricultural Production		厚木	全学生	中級以上	中級	学部2年時までの必修専門科目の単位をすべて修得していること	専門的な教育を英語で施すため、ある水準以上の英語力と農学の基本的な知識を必要とする。
Agroecology and Food Production / 旧カリ: Ecology and Food Production		世田谷	全学生	中級以上 英語の専門テキストが無理なく理解でき、英語でディスカッションできるレベル	中級	農業生産、食品、社会・文化・経済にわたる全般的な基礎知識	
Food and Health 2		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級以上	中級～上級	食品と健康に興味があり、ある程度の専門用語を理解できること	担当教員が1-2コマずつ授業を担当し、英語でのプレゼンテーション(発表)が多い授業である。
Group Approach to Food and Environment		世田谷	日本人学生、外国人留学生	上級	中級～上級	海外協定校の学生と英語でのディスカッションを行うための英語力と論理力を持つものとする	6月下旬に開催される「食と農と環境を考える世界学生サミット」に座長または発表者として参加することが条件である。
Field Study of Food and Environment		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農林水産業、農業と自然のコンフリクト、アグロエコロジーに興味を持つものとする	集中開講される「国際体験学修プログラム(CIEP)」に参加することが条件である。 (約1週間の宿泊を伴うプログラム。参加費(航空券、宿泊費等)は自己負担)
Sustainable Agriculture in Asia		世田谷	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農林水産業、農業と自然のコンフリクト、アグロエコロジーに興味を持つものとする	集中開講される「国際体験学修プログラム(CIEP)」に参加することが条件である。 (約1週間の宿泊を伴うプログラム。参加費(航空券、宿泊費等)は自己負担)
Molecular Biology and Biotechnology		世田谷	全学生	中級以上	上級	基礎的な生物学の知識を有すること	最後に日本の食、受講者のふるさとの食にまつわるプレゼンテーション課題がある。
Japanese Food Culture / 旧カリ: Comparative Nature Study from Cultural Perspective		世田谷	全学生	中級以上	中級	日本及び世界の食・文化に興味があるとよい	ディスカッションやプレゼンテーションを中心に進めていくため、意欲的に発言し参加する姿勢が必要である。

※1 英語能力の目安 初級: TOEIC300程度 中級: TOEIC400程度 上級: TOEIC500以上

その他の科目

クラス分けのある授業科目

学部・学科指定 クラス	科目名 (学部・学科名)	自分の所属学科のクラスを履修登録してください。
学籍番号順クラス	科目名+アルファベットクラス	🔗 学生ポータル「クラス分け表」参照 自分の所属するクラスを確認してください。
事前決定クラス	科目名+アルファベットクラス	クラス分けテスト等によって決定したクラスを履修登録してください。
教職・学術情報課程 科目のクラス	教職・学術情報課程科目名 + 学部・学科指定のないアルファベットクラス	自分の時間割に合わせて自由に選択できます。学部・学科指定がある科目は自分の所属するクラスを履修登録してください。 ※クラスは科目名と分けて表記している場合があります

他学部・他学科科目 自分の所属以外の学部・学科の科目を履修する際の制限・条件

対象外の科目	実験・実習・演習 (研修を含む) 科目	開発「海外農業実習 (一) (二) (三)」を除く
	各学部の総合教育科目	スポーツ関係科目を除く
	各学部の外国語科目	初修外国語科目を除く
	一部の学部または学科開講科目	時間割表に★または☆マークを表示 ★：他学部・他学科履修不可 ☆：他学部履修不可
上級学年の配当科目の履修	× 履修不可	例) 履修希望者が現在 2 年生の場合 ○ 1 年次：2 年次配当科目 × 3 年次：4 年次配当科目
履修登録単位の上限	在学中合計 16 単位	単位の修得にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされます

同名科目 複数の学部・学科で開講している同名の科目 📄「同名科目一覧」(18~20 ページ) 参照

⚠️ 注意	× 履修不可	所属学科 (配当学年を問わず) にある科目 (既修得、未修得問わない) と同名の他学部・他学科科目の履修 例) バイオの学生：微生物の「応用微生物学」が履修不可 理由：バイオ 3 年次に「応用微生物学」が開講されるため
		既に単位修得している科目の複数履修

## 同名科目一覧 (1/3 ページ)

科目名	学部	学科	学年	科目名	学部	学科	学年
日本国憲法	農学部	全学科	2	バイオインフォマティクス	応生学部	化学	3
	応生学部	全学科	2		応生学部	醸造	3
	生命学部	全学科	2		生命学部	微生物	2
	地域学部	全学科	2	バイオプロセス工学概論	応生学部	全学科	3
	国際学部	全学科	1		生命学部	バイオ	3
化学	農学部	全学科	1	応用微生物学	応生学部	化学	3
	応生学部	全学科	1		生命学部	バイオ	3
	生命学部	全学科	1		生命学部	微生物	3
	地域学部	全学科	1	解剖生理学	応生学部	健康	1
	国際学部	全学科	1		応生学部	栄養	1
生物学	農学部	全学科	1	科学と哲学	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1		応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1		生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1	科学の歴史	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1	科学メディア論	応生学部	全学科	3
物理学	農学部	全学科	1		生命学部	微生物	3
	応生学部	全学科	1	環境科学	農学部	全学科	3
	生命学部	全学科	1		応生学部	全学科	3
	地域学部	全学科	1	環境化学	応生学部	化学	3
	国際学部	全学科	1		応生学部	醸造	3
地学	農学部	全学科	2	環境学習と体験活動	地域学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1	環境倫理	国際学部	全学科	2
	生命学部	全学科	1	機器分析学	農学部	資源	3
	地域学部	全学科	1		生命学部	生化	3
	国際学部	全学科	2		生命学部	微生物	3
中国語 (一)	農学部	全学科	2	機器分析学概論	応生学部	全学科	3
	応生学部	全学科	1		生命学部	バイオ	3
	生命学部	全学科	1	起業論	応生学部	全学科	3
	地域学部	全学科	1	生命学部	全学科	3	
	国際学部	全学科	1	技術者倫理	地域学部	全学科	3
中国語 (二)	農学部	全学科	2	経営学入門	国際学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1	経済学入門	国際学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1	経済入門	農学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1		応生学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1		生命学部	全学科	1
スペイン語 (一)	農学部	全学科	2	芸術	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1	現代の環境問題	応生学部	全学科	2
	生命学部	全学科	1	現代社会と経済	地域学部	全学科	3
	国際学部	全学科	1	現代社会の諸問題	農学部	全学科	2
スペイン語 (二)	農学部	全学科	2	源流文化学	地域学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1	公衆衛生学	応生学部	健康	2
	生命学部	全学科	1		応生学部	栄養	3
	国際学部	全学科	1	国際関係と社会問題	地域学部	全学科	3
ドイツ語 (一)	生命学部	学部共通	1	国際関係を考える	農学部	全学科	2
	地域学部	学部共通	1	国際地域農業論	国際学部	ビジネス	2
ドイツ語 (二)	生命学部	学部共通	1		国際学部	食農	1
	地域学部	学部共通	1	国際農業経済論	国際学部	開発	3
アイソトープ利用論	生命学部	バイオ	3	国際学部	経済	2	
	生命学部	微生物	3	心の構造	応生学部	全学科	1

## 同名科目一覧 (2/3 ページ)

科目名	学部	学科	学年	科目名	学部	学科	学年
昆虫学	農学部	農学	2	植物防疫論	農学部	農学	3
	農学部	資源	2		農学部	資源	3
栽培学入門	国際学部	全学科	1		農学部	デザイン	3
細胞生物学	応生学部	化学	2	進化論	応生学部	全学科	2
	応生学部	健康	2	生命科学部	バイオ	3	
	生命科学部	バイオ	1	心理学概論	農学部	全学科	1
食育コース	応生学部	全学科	3	数学	農学部	全学科	1
食品衛生学	応生学部	化学	3	生命科学部	バイオ	1	
	応生学部	栄養	2	生命科学部	微生物	1	
	生命科学部	バイオ	3	地域学部	工学	1	
	国際学部	食農	2	国際学部	全学科	1	
食品化学	農学部	デザイン	2	生化学	農学部	全学科	2
	応生学部	醸造	3	応生学部	健康	1	
	応生学部	健康	1	生命科学部	バイオ	1	
	生命科学部	バイオ	2	生命科学部	生化	3	
食品加工学	応生学部	醸造	1	生化学 (一)	応生学部	醸造	2
	応生学部	栄養	2	応生学部	栄養	2	
	国際学部	食農	2	生化学 (二)	応生学部	醸造	2
食品機能学	農学部	デザイン	3	応生学部	栄養	2	
	応生学部	醸造	3	生産経営概論	応生学部	全学科	3
	応生学部	健康	3	政治のしくみ	国際学部	全学科	1
	応生学部	栄養	3	生体高分子化学	応生学部	化学	3
	国際学部	食農	3	生命科学部	バイオ	2	
食品工学概論	応生学部	全学科	3	生物工学概論	応生学部	全学科	2
食品製造学	応生学部	化学	3	生命科学部	バイオ	3	
	生命科学部	バイオ	2	生物統計学	農学部	動物	2
食品微生物学	農学部	デザイン	3	応生学部	健康	3	
	応生学部	醸造	1	生命科学部	全学科	1	
自然再生技術論	農学部	全学科	3	生物有機化学	応生学部	化学	2
実験計画法	農学部	農学	3	応生学部	健康	2	
	農学部	デザイン	2	生命科学部	バイオ	1	
	応生学部	化学	4	生命科学	農学部	全学科	3
実験動物学	農学部	動物	1	応生学部	全学科	3	
	生命科学部	バイオ	3	生命科学概論	生命科学部	全学科	3
植物育種学	農学部	農学	2	生命倫理	農学部	全学科	2
	農学部	資源	4	応生学部	全学科	1	
	国際学部	食農	3	生命科学部	全学科	1	
植物栄養学	農学部	全学科	2	測量学	地域学部	森林	1
植物生長調節論	農学部	全学科	3	地域学部	工学	2	
植物生理学	応生学部	化学	2	地域学部	造園	2	
	応生学部	健康	2	地域学部	創成	2	
	生命科学部	バイオ	2	地域環境科学概論	地域学部	全学科	1
	生命科学部	微生物	2	地球環境と炭素循環	地域学部	全学科	1
植物生理生態学	農学部	全学科	2	地域再生・活性化	国際学部	全学科	1
植物病理学	農学部	農学	1	地域と文化	地域学部	全学科	2
	農学部	資源	1	畜産学入門	国際学部	全学科	2
	応生学部	化学	3	知的財産概論	応生学部	全学科	3
	生命科学部	微生物	2	生命科学部	バイオ	3	
				生命科学部	微生物	3	

## 同名科目一覧 (3/3 ページ)

科目名	学部	学科	学年
地理学	国際学部	全学科	2
調理学	応生学部	栄養	1
	国際学部	食農	2
哲学	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
統計学	応生学部	全学科	1
	地域学部	全学科	2
統計基礎	国際学部	全学科	2
動植物園論	農学部	全学科	3
動物解剖学	農学部	動物	1
	農学部	資源	2
	農学部	デザイン	2
動物管理学	農学部	動物	1
	農学部	資源	1
	農学部	デザイン	1
動物生理学	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
土壌学	農学部	農学	1
	農学部	資源	1
	応生学部	化学	2
土壌肥料学	地域学部	創成	3
	国際学部	食農	3
日本史	国際学部	全学科	1
農学概論	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	微生物	1
	地域学部	創成	1
	国際学部	食農	1
農学原論	農学部	全学科	1
農業インターンシップ (一)	農学部	全学科	1
農業インターンシップ (二)	農学部	全学科	1
農業気象学	農学部	全学科	2
知的財産論	農学部	全学科	3
農業経営学	農学部	農学	2
	農学部	動物	3
	農学部	資源	3
	農学部	デザイン	3
	国際学部	開発	2
	国際学部	経済	2
	国際学部	食農	3

科目名	学部	学科	学年
農業経済学	国際学部	開発	1
	国際学部	経済	1
農と科学の歴史	応生学部	全学科	1
農産物マーケティング論	農学部	全学科	3
農村社会学	国際学部	経済	2
	国際学部	食農	3
微生物学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	1
	生命学部	バイオ	1
病理学	応生学部	健康	3
	応生学部	栄養	2
文化人類学	農学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1
文学概論	地域学部	全学科	1
分子遺伝学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	3
分子生物学	農学部	全学科	3
	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	3
分子生物学 (一)	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
分子生物学 (二)	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
分析化学	応生学部	醸造	1
	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	生化	2
法学入門	国際学部	全学科	1
法と社会	応生学部	全学科	2
無機化学	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	生化	2
有機化学	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	2
	生命学部	バイオ	1
有機化学 (一)	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	1
	生命学部	生化	1
有機化学 (二)	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	2
	生命学部	生化	2

## 2 大学間の協定に基づく科目の履修

### 東京情報大学

東京情報大学との間で協定を締結しており、東京情報大学の授業科目を履修することができます。  
※学務課窓口で確認してください。

### 成城大学

2026年度より、みなさんに多くの学びの機会を提供し、学修の幅を広げることを目的として、新たに成城大学との間に単位互換制度を導入することになりました。

本制度は東京農業大学と成城大学の学生がお互いの科目を履修し、単位を修得できる仕組みです。  
これにより専門分野の学びだけでなく、多様な科目の履修が可能となります。

対象者	全学部 2～4年生（10名以内）
履修期間	2026年4月から翌年3月までの1年間（年度単位）
履修科目	成城大学が定めた科目
出願方法	募集要項を参照 ※2026年度の募集は終了しました
成績・単位認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修した科目の成績は成城大学の規定に基づき評価されます。</li> <li>単位の認定は「他大学の修得単位」として選択単位として認定されます。（科目認定ではなく単位認定となります）</li> <li>履修単位は履修制限単位数に含まれます。</li> </ul>
費用	登録料や履修料は徴収されませんが、教科書代、教材費等は自己負担です。

### 3 履修登録の方法

履修登録は学生ポータル「履修登録 (修正)」から行います。登録方法は以下のとおりです。  
 なお学生ポータル自体の使い方については 28~32 ページに掲載しています。

住所等の登録を行っていない学生は、Web 履修システムを利用することができません。

※住所等の登録については、📱「(7) 履修登録ができない場合」(27 ページ) 参照

#### (1) 「履修登録 (修正)」を選択



- ① 「教務掲示」タブを選択
- ② 「履修登録 (修正)」を選択

履修登録画面が表示されます。

**履修登録(修正)**

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時間を選択してください。

集中講義選択
他所属講義選択
開講科目検索

2025年 前学期	2025年 後学期				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1時限			S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境 工学 斎藤 文雄	S7144 地域と文化(工学) 【旧カ/補講】 渡辺 裕巳
2時限			S7153 専攻演習(一)(地域資源 創造理工学研究室) 三浦 真智人 他	S7033 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 資料 公他
3時限	S7047 国際関係と社会問題 (工学・創成) 澤登 芳美		S7163 土地改良学 中島 孝		
4時限	再履修 S7101 材料力学 川名 太	他 S7041 森林教育学【旧カ/補講】 関岡 興生			
5時限					
6時限					
7時限					

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	22	44	-
下限	履修単位	-	22	20	44
上限	他所属	-	0	2	2
					16
					2(0)

※他所属 他大学、他学部、他学科

🔄 入力内容を確認する

初期表示は該当の年度・学期の登録画面であり、登録されている開講科目が表示されています。

- A 他所属講義**  
コマに他所属講義がある場合、他所属を表す画像 [他] が表示されます。
- B 再履修科目**  
コマに再履修科目がある場合、再履修を表す画像 [再履修] が表示されます。
- C 履修単位** 📖「カウント方法」(11 ページ)参照  
学期、年間、累積 (他所属のみ) の履修単位数を確認できます。  
学期、年間は制限単位数 (黒字) と、履修中の単位の合計 (赤字) を表示します。  
累積は制限単位数 (黒字) と、今まで履修してきた単位 + 登録中の単位の合計 (赤字) を表示します。更にカッコ内に前の学期までの数が表示されます。

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

## (2) 履修登録の追加

新規で科目を履修登録する 4 つの方法について

### a. [📎] からの登録



① [📎] アイコンを選択

開講科目選択画面が表示されます。

※所属学部学科開講科目と全学開講科目が表示されます。



① 「開講番号 (履修番号)」「開講科目名・担当教員等」の情報を確認し、表示されている開講科目から選択

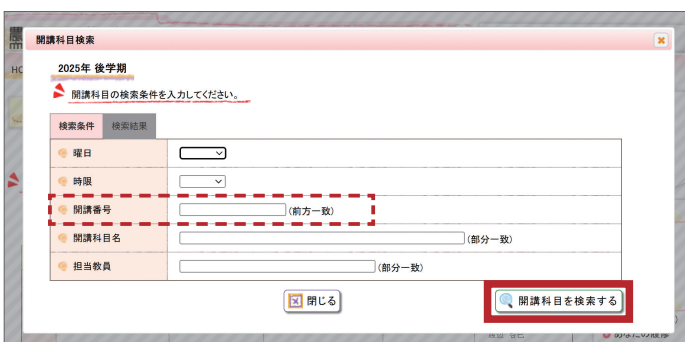
② **登録する** を押下

### b. [開講科目検索] からの登録



① **開講科目検索** をクリック

検索画面が表示されます。



① 「開講番号」を入力

② **開講科目を検索する** を押下

#### 「開講番号」で検索する際の注意

履修番号 4 桁の数字の前に、必ず半角英字をつけてください。

- ・世田谷キャンパスの科目：「S\*\*\*\*」
- ・厚木キャンパスの科目：「A\*\*\*\*」
- ・オホーツクキャンパスの科目：「O\*\*\*\*」

c. [ 他所属講義選択 ] からの登録

※他所属講義（他学部・他学科所属）は、この方法で履修登録を行ってください。



① **他所属講義選択** を選択

他所属講義選択画面が表示されます。



① 表示されている開講科目を選択  
② **登録する** を押下

※他所属講義科目を追加  
表示されている開講科目以外の開講科目を登録する場合は、**開講科目を追加する** をクリックすると登録できます。

d. [ 集中講義選択 ] からの登録

※集中講義は、この方法で履修登録を行ってください。



① **集中講義選択** を選択

集中講義選択画面が表示されます。



① 「開講番号（履修番号）」「開講科目名・担当教員 等の情報を確認し、表示されている開講科目から選択

② **登録する** を押下

### (3) 履修登録科目の削除

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2025年 前学期 2025年 後学期 未登録 登録済 変更不可

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	S7145 環境土木学 岡澤 聖也		S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他		S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 渡辺 裕巳
2時限	S7009 TOEIC英語中級 松本 孝子	再履修 S7104 情報基礎(二) (工学) 日 佐々木 豊他	S7149 専攻演習(一) (バイオ) オロポテックス研究室 佐々木 豊他		

- ① 登録中の登録科目名をクリック
- ② 削除画面へ遷移

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。

### (4) 登録内容が反映された履修登録画面

履修登録(修正)

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2025年 前学期 2025年 後学期 未登録 登録済 変更不可

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境 工学 渡邊 文雄	S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 渡辺 裕巳
2時限			S7153 専攻演習(一) (地域資源) 産利産工学研究室 二橋 眞吾 入他	S7033 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 左村 公他
3時限	S7047 国際関係と社会問題 (工学・創成) 澤登 秀英		S7163 土地改良学 中島 亨		
4時限	再履修 S7101 材料力学 川格 太	他 S7041 森林教育学【旧カリ補講】 岡崎 康生			
5時限					
6時限					
7時限					

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	22	44	-
下限		-	-	-	-
上限	他所属	-	0	2	2
					16
					2(0)

※他所属 他大学 他学部 他学科

入力内容を確認する

前述 (2) ~ (3) の手順を繰り返し、登録したい開講科目をすべて選択し終えたら、

**入力内容を確認する** を押下

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

※この時点では、まだ履修登録は完了していません。

### (5) 履修登録内容確認画面

履修登録(修正)

登録内容入力 → **登録内容確認** → 登録完了

入力画面へ戻る

履修内容を確認してください。

2025年 前学期	2025年 後学期				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
1時限		S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境 工学 源邊 文雄	S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 源邊 啓巳	
2時限		S7153 専攻演習(一)(地域資 源利用工学研究室) 三原 真智 他	S7033 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 左村 公他	
3時限	S7047 国際関係と社会問題 (工学・創成) 澤登 秀英	S7163 土地改良学 中島 亨			
4時限	【旧履修】 S7101 材料力学 川島 大	他 S7041 森林教育学【旧 カリ補講】 岡岡 賢生			
5時限					
6時限					
7時限					

	前学期	後学期	年間	累積			
上限	履修単位 22	22	22	44	-	-	
下限	-	-	20	44	-	-	
上限	他所属 -	0	-	2	2	16	2(0)

※他所属:他大学、他学部、他学科

入力画面へ戻る **この内容を登録する**

内容を確認し、問題なければ

**この内容を登録する** を押下します。

※履修単位の上限については、  
カリキュラム・学科によって異なります。

### (6) 履修登録完了画面

プレビューで確認して下さい

**印刷する**

火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	S7148 技術者倫理(工学) 中西 憲雄 他	S7146 地水環境 工学 源邊 文雄	S7144 地域と文化(工学) 【旧カリ補講】 源邊 啓巳
	S7153 専攻演習(一)(地域資 源利用工学研究室) 三原 真智 他	S7033 物理学 竹村 彰夫	S7161 設計製図 左村 公他
	S7163 土地改良学 中島 亨		
	他 S7041 森林教育学【旧 カリ補講】 岡岡 賢生		

	前学期	後学期	年間	累積		
限	履修単位 22	22	44	-		
限	-	-	20	44		
限	他所属 -	0	-	2	16	2(0)

※他所属:他大学、他学部、他学科

**登録番号: 103**

#### 重要

履修登録が完了すると、  
画面右下に「登録番号」が表示されます。

右上の [ 印刷する ] ボタンをクリックし、必ず印刷  
または画面データで、履修登録完了画面全体を保管し  
てください。(修正した場合も同様)

履修に関する問い合わせには、根拠資料として「登録  
番号」が必要です。必ず、登録番号を控えてください。

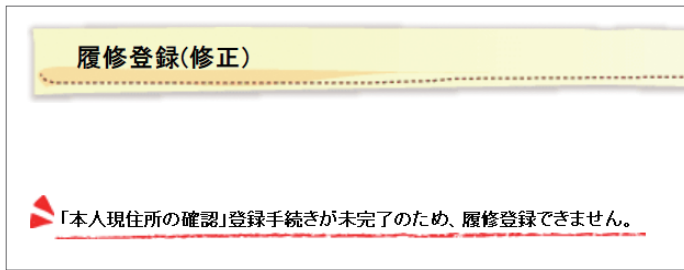
**※この時点で履修登録が完了**

(すぐにはスケジュールや My 時間割等に反映されません。正式な反映は履修確認日以降です。)

## (7) 履修登録ができない場合

履修登録を行うためには、「住所等の登録」を行ってください。

※「住所等の登録」は毎年度行う必要があります。



① 「本人現住所の確認」等が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。



② タブおよびサイドメニュー画面から「住所等の登録」を選択

## 4 学生ポータル

学生ポータルとは、学生生活を送るうえで必要な情報を Web 上で確認できるシステムです。

個人の呼び出しや授業の情報などがパソコン・スマートフォン等から確認できます。また、履修登録や成績の確認、オフィスアワー、シラバスの検索など授業の受講に必要な手続きにも利用します。

※このてびきでは、パソコン用画面に沿った説明を記載しています。

### (1) ログインの方法



東京農業大学ホームページ

<https://www.nodai.ac.jp>

- ① 「**在学生の方**」をクリックしてください。
- ② 「**学生ポータル**」をクリックし、使用するデバイスを選んでアクセスしてください。
  - ・「学生ポータルパソコン用」
  - ・「学生ポータルスマートフォン用」
- ③ 「利用者 ID」に学籍番号を入力し、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックしてください。



## (2) 各メニューの使い方

**A** HOME | My時間割 | 教務揭示 | 学生生活情報 | 奨学金 | シラバス | オフィスアワー | 授業評価アンケート | キャビネット | WebClass

**B** 週間スケジュール

12/11 (木)	12/12 (金)	12/13 (土)	12/14 (日)	12/15 (月)	12/16 (火)	12/17 (水)
3限(13:00-14:30) 食農専門演習(二)	2限(10:40-12:10) 地理学(食農)			2限(10:40-12:10) 英語(四) Aクラス	1限(9:00-10:30) 農学概論	3限(13:00-14:30) 食農基礎実験
4限(14:40-16:10) 食農専門演習(二)	3限(13:00-14:30) 国際フードシステム			3限(13:00-14:30) 食品加工学	3限(13:00-14:30) 食と農の歴史と文化	4限(14:40-16:10) 食農基礎実験
	4限(14:40-16:10) 食農作物学					5限(16:20-17:50) 特別講義(一) 東京

**C** 本日のスケジュール

- 3限(13:00-14:30) 食農専門演習(二)
- 4限(14:40-16:10) 食農専門演習(二)

本日のスケジュールはありません。

本日が期日のToDoはありません。

各キャンパスからのお知らせ

- 12/11 (木) New インフルエンザにご注意を!
- 12/11 (木) New 【募集】アカデミックサポーター説明会および座談会
- 12/10 (水) New 【誰でも参加OK】学科・学年を超えて話せるランチ

全学共通のお知らせ

- 12/10 (水) New 令和7年度 学位記授与式の開催について(お知らせ)
- 12/9 (火) [重要] 世田谷キャンパス停電に伴うネットワークお
- 12/9 (火) 学生向け講演会<<農大生、在学中に起業する>>の
- 12/9 (火) [重要] 令和7年青森県東方沖を震源とする地震に
- 12/5 (金) [重要] 2025年度後学期「学生による授業評価ア

あなた宛のお知らせ

- 12/10 (水) New [重要] 訂正:2026年度の選択必修英語科目の履修
- 12/10 (水) New [重要] 専門演習Aクラス12月11日 3限クラス演習
- 12/9 (火) 動画配信:論文・レポート作成に役立つ文献の集め
- 12/8 (月) [重要] 2026年度の選択必修英語科目の履修希望

教務情報

- 時間割表
- 教務揭示一覧
- 授業日関係
- 履修関係
- 試験関係

履修成績

- 履修登録(修正)
- あなたの履修
- あなたの成績台帳

## A 上部メニューバー

### MY 時間割

各自の授業時間割を確認できます。

教室変更や休講情報、課題の連絡等の重要な情報を確認できます。

### 教務揭示

#### ○時間割表

クリックするとキャビネットに自動遷移します。キャビネット一覧から時間割表を選択すると各キャンパスごとのフォルダに分かれており、各時間割表 (PDF) を掲載しています。なお、集中開講科目日程表もここに掲載しているため、履修登録の前に確認してください。

HOME | My時間割 | 教務揭示 | 学生生活情報 | 奨学金 | シラバス | オフィスアワー | 授業評価アンケート | キャビネット | WebClass

My時間割

- 時間割表
- 教務揭示一覧
- 授業日関係
- 履修している時間割: 履修関係
- 休講 補講 時間: 試験関係
- 授業日程変更 レポート課題
- 履修登録(修正)
- あなたの履修
- あなたの成績台帳

前学期	月曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			食農専門実習(東海部門) 伊勢原農場 篠原 卓		

照会

- My時間割

○教務掲示一覧

教員および教務課等から、授業に関するお知らせを掲示しています。

講義の受講方法、レポート課題についての連絡など、授業を受ける上で必要な情報を確認できます。学生ポータルにログインした際は、必ず確認してください。

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | 奨学金 | シラバス | オフィスアワー | 授業評価アンケート | キャンパス | WebClass

教務掲示一覧

現在掲示中の教務情報は以下の通りです。  
 掲示内容を絞り込む場合は、下の検索条件から絞り込んでください。

1-4件表示/4件中 [10] 件表示

種別	開講科目名	曜日時限	担当教員	詳細	▼ 掲示日
講義連絡	植物病理学	水1限 (9:00-10:30)	大島 宏行	タイトル：3、4週目講義資料 添付ファイル：無	2025/12/02 11:59
休講情報	マーケティング学	火3限 (13:00-14:30)	滝川 善貴	対象日：12/2(火)	2025/12/02 10:39
講義連絡	植物病理学	水1限 (9:00-10:30)	大島 宏行	タイトル：11月19日 講義資料 添付ファイル：無	2025/11/14 15:05
授業日程変更	マーケティング学	火3限 (13:00-14:30)	滝川 善貴	授業日程変更日：10/14(火)～	2025/10/10 16:49

「教務掲示一覧」をクリックすると履修している科目に関するお知らせが表示されます。

【メッセージ種別】

- 休講情報……………休講する科目と日程について
  - 補講情報……………休講した授業の補講日程等について
  - 時間割変更情報…教室や時限・曜日変更等について
  - 授業日程変更……授業の時限や教室変更等について
  - 講義連絡……………授業に関するお知らせや課題・試験等について (次ページ※ 1 参照)
  - レポート課題……レポート課題の詳細と提出について (次ページ※ 2 参照)
- 提出した後に同画面を確認し、「提出済み」「受理」等を確認してください。

【教務掲示の検索方法】

ページ下部の検索条件から必要な情報を検索できます。

詳細検索条件の「▼検索条件を開く」をクリックすると、過去の掲示内容や教員名・開講番号で検索できます。

## 教務掲示一覧

### ※ 1 講義連絡

**講義連絡対象の時間割**

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
月3限 (13:00-14:30)	保全生数学	亀山 慶晃	331教室	前学期

**講義連絡の詳細**

- メッセージ種別: 講義連絡
- 送信者: 亀山 慶晃
- タイトル: 保全生数学 実施要領および講義資料
- 詳細: 履修者の皆さん、保全生数学の実施要領と講義資料を添付します。同様のファイルはWebClassにも保存しています。実施要領を読み、講義に臨んでください。亀山
- 添付ファイル:
  - ファイル1: 25F\_保全生数学\_実施要領
  - ファイル2: 25F\_保全生数学\_講義資料\_学生用

「開講科目名」をクリックすると授業に関するお知らせを確認できます。

試験や授業の受講についての案内もあります。授業の前に必ず確認してください。

### ※ 2 レポート課題

**レポート課題対象の時間割**

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
月3限 (13:00-14:30)	情報基礎(Ⅱ)クラス	笠原 邦子 藤田 沢彦	コンピュータ演習室1	後学期

**レポート課題情報の詳細**

- メッセージ種別: レポート課題
- 送信者: 笠原 邦子
- タイトル: 12回目 プログラミング2
- 詳細: Windowsのメモ帳を利用してウェブページ作成の基礎を学習します。教科書(pp.125-148)とOneDriveの「5マルチメディア情報処理」フォルダのpdfファイル「情報基礎(Ⅱ)第12回ウェブページの作成」を参照して作成したテキストファイルを提出してください。ファイル名 学籍番号(半角) 締め切り 1/4(日)18時
- 提出期限: 1/4(日)18:00 ■期限後の提出を許可しない

「開講科目名」を選択すると、レポート課題についてのお知らせを確認できます。作成したレポートは、以下の手順で提出してください。

[レポートを提出する] をクリックすると詳細と下記の画面が確認できます。

※履修中の科目のみレポート課題を提出できます。

レポートの内容を確認し、指定の書式で課題を作成してください。

**提出状況**

- 提出状況: 未提出
- 提出ファイル\*: **ファイルを選択 選択されていません**
- 提出コメント: (1000文字以内で入力してください。)
- 教員コメント: -
- 提出日時: -

**レポートを提出する**

[ファイルを選択] から、作成したファイルを選択してください。必要があれば提出コメントを入力し、[レポートを提出する] をクリックしてください。

提出後、提出状況の表示(「提出済み」「受理」「再提出」等)を、必ず確認してください。

## ○あなたの履修

当該年度の履修登録期間に登録した科目の確認ができます。

※未登録の科目の受講や試験の受験はできません。

## ○あなたの成績台帳

- ・科目一覧を見る …………… 単位数、評価、修得年度・学期
  - ・単位修得状況を見る …… 必要単位数と修得済単位数
  - ・GPAを見る …………… 年度、学期、年間のGPA
- 上の3つのタブの内容を確認することができます。

科目一覧を見る	単位修得状況を見る	GPAを見る	印刷する
集計条件名	必要単位数	修得済単位数	
必修	75	53	
選択必修 ※	10	6	
選択 専門教育科目	29	6	
選択 総合教育・外国語科目	10	10	
***卒業要件単位数計***	124	75	

## シラバス

授業の内容を確認することができます。成績評価の基準等、履修登録する前に必ず確認してください。

## オフィスアワー

授業担当者の連絡先や質問方法、対応時間が掲載されています。授業時間以外で質問する場合に利用してください。

## キャビネット

学生生活ハンドブックや履修のてびき、時間割表、年間授業計画、各種申請書類などを確認することができます。

**B** 週間スケジュール

授業の予定や大学の予定を確認できます。

科目名をクリックすると講義連絡等も確認することができます。

なお、隔週で開講している科目は毎週表示され、集中科目は表示されない場合があります。

**C** 各お知らせ

## 全学共通のお知らせ

本学学生全体にお知らせしている内容です。

授業の運営方針やシステム障害等、重要な内容をお知らせします。

## 各キャンパスからのお知らせ

所属キャンパスごとのお知らせです。

履修登録や定期試験、奨学金等について、お知らせします。必要な情報を確認してください。

## あなた宛のお知らせ

個人宛に送信している内容です。

特定の学科、学年にのみ送信している連絡、授業に関するお知らせ、教員や教務課からの呼び出し等のお知らせがあります。必ず確認し、対応してください。

## 5 WebClass

WebClass は、本学で導入している PC・スマートフォンからアクセスできる学習支援システム（LMS）です。授業に関するお知らせ、教材の配信、テストの受験、出席管理等に利用します。また、学生ポータルと同じユーザー ID とパスワードを使用してログインします。主な利用方法については以下に記載しています。その他の機能については WebClass 「マニュアル」 タブにあるマニュアルを参考にしてください。

※パソコン用画面に沿った説明を記載しています。

※画面はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

### (1) ログイン方法



大学ホームページ [ 在学生の方 ] や学生ポータルの上部メニューバー等にもリンクがあります。

WebClass ログイン URL

<https://lms.nodai.ac.jp/>

[ WebClass にシングルサインオンする ] を選択し、ユーザ ID とパスワードを入力して、[ ログイン ] をクリックします。

#### 【重要】 WebClass をクリックしても反応がない場合（もしくはエラーの表示が出る場合）

主にスマートフォンでのログイン時の発生が報告されています。ブラウザの「ポップアップブロック」をオフにするか「閲覧履歴の消去」（対象期間は任意で選択）を行ってみてください。それでも解決しない場合は教務課に問い合わせてください。（下には参考までに主なブラウザでの設定方法を簡単に記載しています）

##### ◇ ポップアップブロック

Safari : 本体の「設定」→「Safari」→「一般」→「ポップアップブロック」をオンからオフに切り替える。

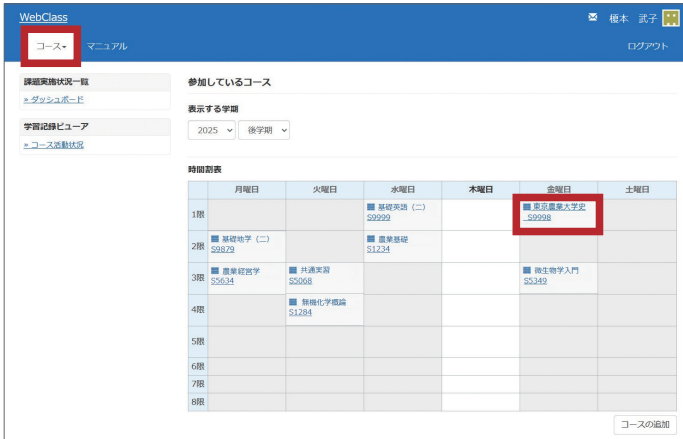
Chrome : アプリの「設定」→「権限」→「ポップアップとリダイレクト」をオフにする。

##### ◇ 閲覧履歴の消去

Safari : 本体の「設定」→「Safari」→「履歴と Web サイトデータを消去」を選択し、履歴を消去する。

Chrome : アプリの「[...]」などのその他アイコン → 「履歴」 → 「閲覧履歴データの削除」から履歴を削除する。

## (2) コースの見方



※ 「コース」とは科目のことを指します。

WebClass トップページ（時間割画面）から確認したいコースを選択します。



コースごとのページに遷移し、「教材」タブが開きます。

コース内では、教材の閲覧、テストの受験、出席の送信などを行うことができます。

## (3) コースの追加

学生ポータルで履修登録・修正した科目を、履修開示に合わせて WebClass に自動反映させています。「参加しているコース」ページに科目が表示されていれば、その科目のコースページの利用が可能になります。**WebClass からは履修登録・削除はできません。**

なお、一時的にコースとして追加したい場合は手動で個別に追加することができますが、履修修正期間以降は追加できません。

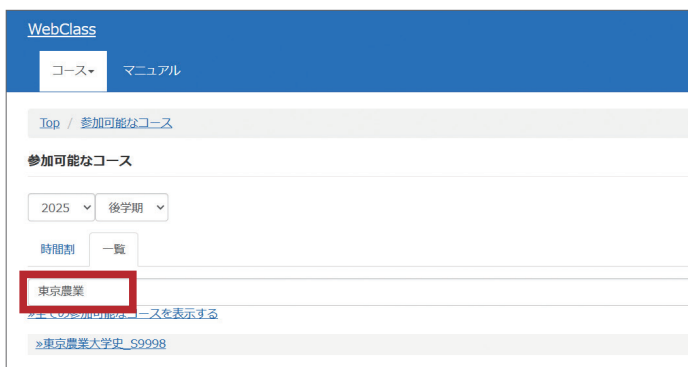
[例：履修登録を検討中の科目の 1 回目の授業に出席し出欠確認を WebClass で行う指示があった場合]

### 【コース追加可能な期間】

	履修登録期間	履修開示	履修修正期間	履修開示	授業期間
履修登録・修正 (学生ポータル)	→	×	→	×	×
		登録内容 反映		登録内容 反映	
コース追加 (WebClass)	→		→	×	×



WebClass トップページ（時間割画面）の下までスクロールし、「**コースの追加**」をクリックします。



追加したいコースの **年度** **学期** を指定後、「一覧」タブの検索枠または「時間割」タブの表の「≫追加」から追加したいコースを探して選択します。



コース名・年度・学期・曜日時限・コース管理者（担当教員）・開講番号を確認し、**メンバーになる** をクリックします。WebClass トップページでの時間割表に追加されるので確認してください。

#### (4) 教材の閲覧方法

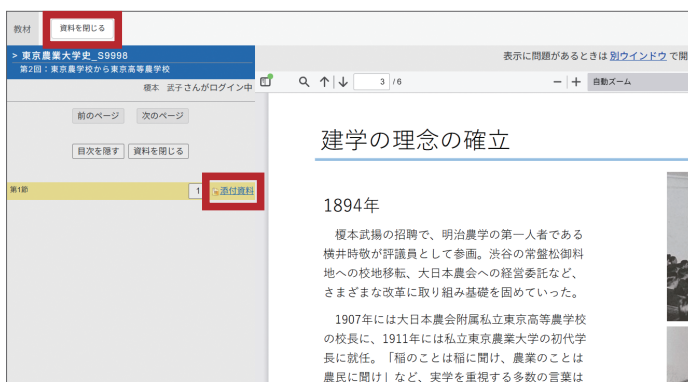


WebClass 内での「教材」には

- ・資料
- ・レポート
- ・テスト
- ・アンケート

などの種類があります。

「教材」タブを選択した状態で、表示されている中から選んでクリックします。



コースごとのページに遷移し、「教材」タブが開きます。コース内では、教材の閲覧、テストの受験、出席の送信などを行うことができます。

## (5) テストの受験

教材の中から受験するテスト（試験）を選び、**開始** をクリックします。

**【要注意】** テスト開始後、ウィンドウを閉じる、別のウィンドウを開く、別のアプリの起動・遷移等を行うと、**テストを続けられなくなる場合があります。**

受験前に通信環境を確認した上で開始し、**絶対に途中でウィンドウを閉じないようにしてください。**

※推奨機器：PC、タブレット

テストの設問と解答欄が表示されるので全て解答してください。

解答を終えたら **終了** をクリックします。

未解答の設問がある場合、左のようにメッセージが表示されます。

**終了** を選ぶと戻ることはできなくなります。

修正したい場合は **戻る** から該当の設問へ戻り、最終確認してから **終了** をクリックしてください。

正常に終了すると、左のようにメッセージが表示されますので **終了** をクリックしてください。

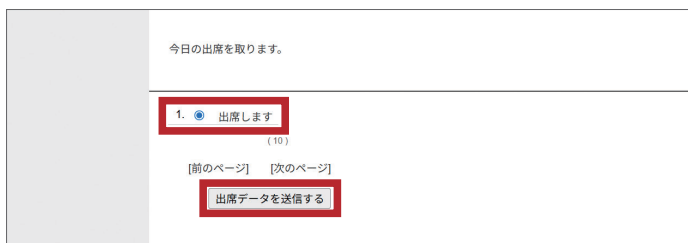
## (6) 出席の送信



コースごとのページの「出席」タブを開くと、授業日が一覧で表示されるので、日付をクリックします。



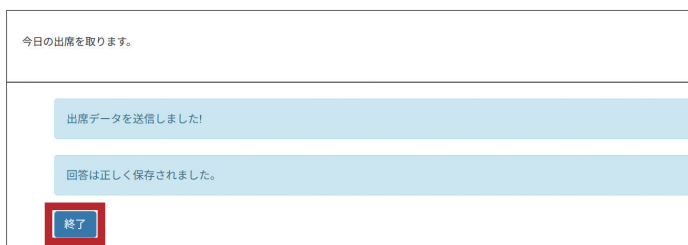
教員が指定したパスワードを入力し、「開始」をクリックします。



**出席します** のラジオボタン●を押し、「出席データを送信する」をクリックします。

※通信環境によっては、出席データが反映されない場合がありますので、速やかに送信するようにしてください。

ホーム画面に戻り、「出席」タブをクリックし、「履歴」をクリックすると確認することができます。



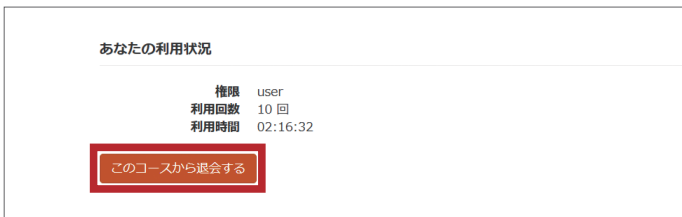
出席データの送信を確認し、「終了」をクリックしてください。

## (7) コースの退会

基本的にはコースの退会を行う必要はありません。先述のとおり履修登録・修正で削除した科目は自動反映されるためです。ただし、履修登録期間中に誤ったコースを手動で追加してしまったなどの場合には、コースから退会することができます。



WebClass トップページでの時間割表から退会したい科目を開き、「コース」タブから「開講情報」をクリックします。

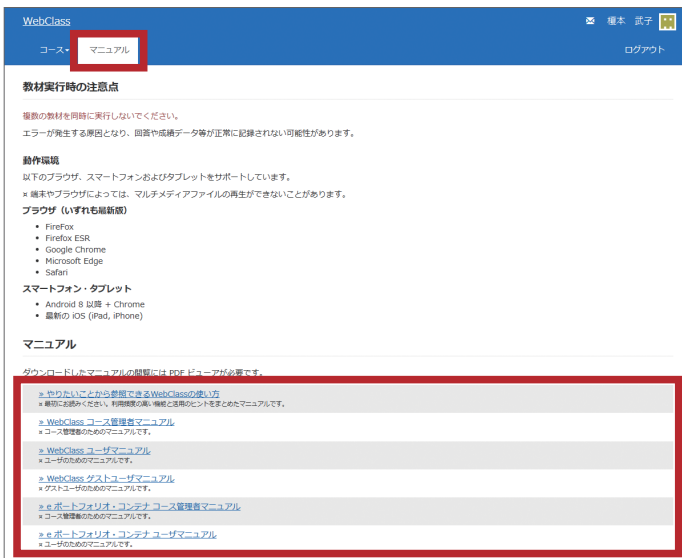


表示された画面の下までスクロールし、「このコースから退会する」をクリックします。



「本当にこのコースから退会しますか?」という確認画面が表示されるので、ここでも「このコースから退会する」をクリックします。WebClass トップページでの時間割表から消えていることを確認してください。

## (8) マニュアル



授業によっては、ここに掲載していない機能を使う可能性があります。WebClass トップページでの「マニュアル」タブから必要に応じてマニュアルを確認してください。

## 6 教材フォルダ

本学では、授業に必要な教材を、学生ポータル「講義連絡」や「在宅学習用教材 (Microsoft OneDrive)」、「WebClass」から配信しています。

ここでは、「在宅学習用教材」のダウンロード方法について説明します。

### 【注意事項】

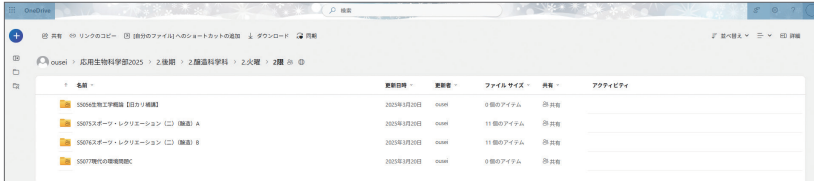
- ◇ 教材フォルダは Microsoft Office を使用しています。必要な方は「新入生のための農大ネットワーク利用ガイド」を参照し、インストールしてください。
- ◇ 各自の農大メールアドレス (学籍番号@nodai.ac.jp) でアクセスしてください。
- ◇ パソコンまたはタブレットでの学習を推奨しています。(スマートフォン等でファイルをダウンロードして閲覧することは可能です。)
- ◇ 教材をオンライン上で閲覧するとうまく動作しない場合があります。必ずダウンロードして学習してください。



「在宅学習用教材」から該当科目の学部を選択してください。

ブラウザ上で Microsoft OneDrive が表示されます

- ① 学部・学科・学期・曜日・時限…と順に開いて該当する科目のフォルダを探す
- ② 必要なデータを見つけ出して選択し、ダウンロードする



## 7 遠隔授業の受講方法

### (1) 遠隔授業とは

パソコンやタブレットを使い、インターネットを介すことで、講義を受ける形態のことです。

学生ポータルを通じて配信される在宅学習用教材（オンデマンド型）の閲覧や、講義を録画した動画を閲覧することで学習し、指示された課題やレポート等を提出し受講します。なお、できるだけ授業日に受講してください。

### (2) 受講方法・流れ

授業科目により実施方法が異なりますので、シラバス、講義連絡等による、指示に従ってください。本学では、対面授業で実施している講義も遠隔授業を組み合わせ実施しています。授業担当者からの指示がありますので、注意するようにしてください。

#### 授業前日まで

シラバス	学生ポータル「シラバス」から該当科目を検索し、授業内容、実施方法、予習内容等を確認してください。
------	--

#### 授業 30 分前まで

講義連絡	学生ポータル「My 時間割」から講義を選択すると確認できます。
------	---------------------------------

#### 授業開始

実施方法	詳細
配信ツール	Zoom による双方向リアルタイム通信（授業時間はミーティングに参加）
教材	学生ポータル「在宅学習用教材フォルダ」または WebClass からダウンロード
出席確認	WebClass または点呼

### (3) 受講する際の推奨スペック

遠隔授業を受講するための環境の推奨スペックは下記の通りとなります。新規に購入する場合や買い替えの際は参考にしてください。すでにパソコンやタブレットを所有されている場合は新たに購入する必要はありません。これらを準備できない場合は、大学のコンピュータ自習室等の PC 及び Wi-Fi 環境を利用できます。なお、新たにパソコン等を購入される場合、Office365 ソフト（Word、Excel、PowerPoint、Access 等）は、大学がライセンス契約しているため、全学生が無料で使用できますので、同ソフトを購入する必要はありません。

端末	キャンパスへの持ち運びが可能なノート型 PC またはタブレット型 PC（キーボード付）を推奨
OS	Windows11 ※Mac の利用も可能としますが、Access や ArcGIS が利用できないなど一部サポートできないことがあります。Chrome OS はアプリの互換性の観点から非推奨
CPU	Intel なら Corei3 以上、AMD なら Ryzen3 以上 ※Snapdragon 搭載パソコンはアプリの互換性の観点から非推奨
メモリ	8GB 以上
ディスプレイ解像度	1920 × 1080 以上
内蔵記憶	256GB 以上（SSD 推奨）
必須機能	Wi-Fi、カメラ、マイク、スピーカー（外付可）

## 8 Forms

Forms は、ブラウザを利用した Microsoft のアプリケーションで、各種アンケートや小テスト、試験等で使われます。アクセスに必要な URL は、主に学生ポータル「お知らせ」や「講義連絡」で周知します。

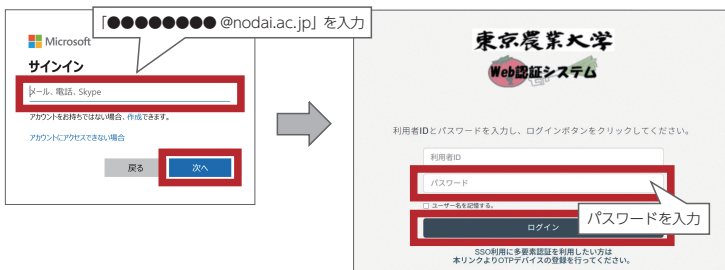
### (1) Forms へのアクセス



講義連絡等に記載されている Forms の URL をクリックしてください。

※「詳細」欄に記載の場合は、URL をコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けます。

### (2) サインイン



①サインインを求める画面が表示されたら、各自の **農大メールアドレス** を入力し、**次へ** を押してください。

② Web 認証画面が表示された場合は、パスワードを入力し **ログイン** を押してください。

### (3) 解答方法



③ Forms にログインし、解答画面が表示されます。

④選択肢（複数選択有り）やテキスト入力、ドロップダウン等の様々な解答方式があります。

※解答時間が設定されている場合は 59 秒までが解答時間となりますので、気を付けてください。

【例】 9 時までの場合、  
8 時 59 分 59 秒まで

## 9 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する各学科の「履修モデル」を43～57ページに掲載しています。自学科の「履修モデル」を参考にしてください。

**【注意】** 履修モデルに記載されている科目のみで、卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。

当該学科の卒業要件単位（必修科目・選択必修科目・選択科目）、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得（受験資格を含む）することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、入学年度の「学生生活ハンドブック（授業科目配当表）」や2026年度の時間割表は学生ポータル（キャビネット）を参照してください。

応用生物科学部 農芸化学科 履修モデル

コース		企業(製造・技術)	企業(営業職)	就農	自営業	公務員	教員	大学院
開講区分	概要	企業の技術職および製造に関わる職種への就職を目指す	企業の営業職にふさわしい多岐にわたる幅広い知識を養うことを目指す	化学の知識を活かし新たな農業を展開することを目指す	幅広い科学の知識を身につけ独立した経営戦略を立てることを目指す	幅広い知識と一般常識を身につけて公務員を目指す	幅広い知識を得て教育職に就くことを目指す	高度な専門知識と判断力を有する人材を育成することを目指す
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)
	課題別科目	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)
	就職準備科目	インターンシップ	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	キャリアデザイン
外国語科目	学部共通科目	実用英語科目	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) 科学英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) 科学英語
	初修外国語科目	中国語(一) 中国語(二)						
専門教育科目	学際基礎科目	人間関係科目	農と科学の歴史	農と科学の歴史	農と科学の歴史	農と科学の歴史	心の構造	心の構造
	社会関係科目	経済入門 現代の環境問題	経済入門 法と社会	経済入門 現代の環境問題	経済入門 法と社会	日本国憲法 現代の環境問題	日本国憲法 現代の環境問題	経済入門 現代の環境問題
	自然関係科目	化学 物理学 統計学	化学 統計学	化学 地学 統計学	化学 統計学	化学 物理学 統計学	化学 物理学 地学	化学 物理学 統計学
	専門共通科目	生命科学 環境科学	生命科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学
	創成型科目	食育コース	食育コース	食育コース			食育コース	
	専門コア科目	食品化学(二) 工場管理論 分子遺伝学 生体高分子化学 共生微生物学 ポストハーベスト学	食品化学(二) マーケティング学 生体高分子化学 共生微生物学	食品化学(二) マーケティング学 土壌微生物学 作物学 植物病理学 ポストハーベスト学	食品化学(二) マーケティング学 機能性分子作用学 ポストハーベスト学	食品化学(二) マーケティング学 共生微生物学 作物学 植物病理学 機能性分子作用学	食品化学(二) マーケティング学 分子遺伝学 機能性分子作用学 有機合成化学 作物学	食品化学(二) 工場管理論 土壌微生物学 バイオインフォマティクス 有機合成化学 作物学 植物病理学
	学際領域科目	知的財産概論 機器分析学概論 科学メディア論	知的財産概論 起業論	起業論	起業論 知的財産概論	科学メディア論 知的財産概論 機器分析学概論	科学メディア論 機器分析学概論	知的財産概論 機器分析学概論 科学メディア論
総合化科目	実験計画法 論文基礎英語	実験計画法 論文基礎英語	実験計画法	実験計画法	実験計画法 論文基礎英語	実験計画法 論文基礎英語	農芸化学特論 実験計画法 論文基礎英語	

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 醸造科学科 履修モデル

コース		製造技術職	営業職	自営業	教員・公務員	進学・研究職	
開講区分	概要	飲食品産業等で製品の製造に携わる者	飲食品産業等で営業活動に携わる者	醸造業あるいは食品製造の経営に携わる者	教職員や県、市町村の職員を目指す者	大学院への進学または企業で研究職を目指す者	
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-)	
	課題別科目		インターナショナル・スタディーズ(-)	インターナショナル・スタディーズ(-)			
	就職準備科目	キャリアデザイン ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	
外国語科目	学部共通科目	TOEIC 英語 (-) TOEIC 英語 (二) 科学英語	TOEIC 英語 (-) 英会話 (-) ビジネス英語	TOEIC 英語 (-) 英会話 (-) ビジネス英語	英語リーディング (-) 英語リーディング (二)	TOEIC 英語 (-) TOEIC 英語 (二) 科学英語	
	初修外国語科目						
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	科学と哲学	農と科学の歴史	農と科学の歴史	心の構造	科学と哲学
		社会関係科目 (2科目)	法と社会 現代の環境問題	法と社会 経済入門	法と社会 経済入門	日本国憲法 法と社会	法と社会 現代の環境問題
		自然関係科目	物理学	統計学	統計学	物理学	統計学
	学科専門科目	専門共通科目	生命科学	環境科学	環境科学	生命科学	生命科学
		創成型科目					
		専門基礎科目					
		専門コア科目	食品加工学 味噌醸造学 醤油醸造学 醸造酒学	食品加工学 味噌醸造学 醤油醸造学 蒸留酒学	食品加工学 味噌醸造学 醤油醸造学 蒸留酒学	分子生物学実験 食品機能学 食品加工学 醸造酒学	分子生物学実験 食品機能学 食品加工学 醸造酒学
		学際領域科目	バイオプロセス工学概論 食品工学概論 知的財産概論 機器分析学概論 環境管理論	バイオプロセス工学概論 起業論 知的財産概論 生産経営概論	バイオプロセス工学概論 知的財産概論 生産経営概論 起業論 環境管理論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 生物工学概論 飲酒生理学	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 生物工学概論 応用酵素学 バイオインフォマティクス
		総合科目	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 食品安全健康学科 履修モデル

コース		企業 (製造技術職)	企業 (研究開発職)	公務員	教員	大学院進学	
開講区分	概要	企業で安全性管理が求められる技術職に就くことを目指す	企業で商品開発に関わる研究職に就くことを目指す	公務員試験に合格し、行政の立場から食に関わることを目指す	幅広い知識を得て教育職に就くことを目指す	大学院博士前期課程および後期課程への進学を目指す	
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(-)	
	課題別科目						
	就職準備科目	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	キャリアデザイン	
外国語科目	学部共通科目	TOEIC 英語 (一) TOEIC 英語 (二) ビジネス英語	TOEIC 英語 (一) TOEIC 英語 (二) ビジネス英語	英会話 (一) 英会話 (二) ビジネス英語	英会話 (一) 英会話 (二) TOEIC 英語 (一) TOEIC 英語 (二)	TOEIC 英語 (一) TOEIC 英語 (二) 英語リーディング (一) 英語リーディング (二)	
	初修外国語科目						
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1 科目 選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1 科目 選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1 科目 選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1 科目 選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1 科目 選択
		社会関係科目	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2 科目 選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2 科目 選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2 科目 選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 1 科目 選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2 科目 選択
		自然関係科目				物理 地学	
	学科専門科目	専門共通科目	生命科学	生命科学	環境科学	生命科学	生命科学
		創生型科目			食育コース	食育コース	
		専門基礎科目		科学英語演習		科学英語演習	科学英語演習
		専門コア科目	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験) 病理学 リスクマネジメント演習 インターナショナルフードアセスメント 生物統計学 感性科学 事業所実習	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験) 病理学 リスクマネジメント演習 病態分子生物学 生物統計学 感性科学 事業所実習 バイオインフォマティクス演習	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験) 病理学 病態分子生物学 リスクマネジメント演習 インターナショナルフードアセスメント 放射線科学 生理活性物質学	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験) 病理学 インターナショナルフードアセスメント バイオインフォマティクス演習 細胞機能学 放射線科学	食品安全健康学実験(所属研究室担当実験) 病理学 病態分子生物学 生物統計学 放射線科学 細胞機能学 生理活性物質学 バイオインフォマティクス演習
	学際領域科目	起業論 知的財産概論 生産経営概論	知的財産概論 生産経営概論	科学メディア論 知的財産概論 食品工学概論	科学メディア論	知的財産概論	

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 栄養科学科 履修モデル

コース		管理栄養士			管理栄養士			
		病院・保健所・学校・福祉施設等	企業	公務員	大学院進学	栄養教諭	理科教諭	
開講区分	概要	病院や行政などで管理栄養士として働くことを目指す	企業で商品開発・技術職に就くことを目指す	公務員試験に合格し、行政の立場から食に関わることを目指す(各省庁、地方公務員、食品衛生監視員等)	大学院博士前期課程および後期課程への進学を目指す	小学校・中学校・高校にて栄養教諭に就くことを目指す	中学校・高校にて理科教諭に就くことを目指す	
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目 スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)			スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	
	課題別科目							
	就職準備科目							
外国語科目	学部共通科目	実用英語科目 英会話(一) 英会話(二)	ビジネス英語	英会話(一) 英会話(二)	科学英語			
	初修外国語科目							
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1科目選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1科目選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1科目選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1科目選択	科学と哲学 農と科学の歴史 心の構造 } 1科目選択	
		社会関係科目	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2科目選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2科目選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2科目選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 2科目選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 1科目選択	日本国憲法 法と社会 経済入門 現代の環境問題 } 1科目選択
		自然関係科目	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学	化学 統計学 物理学 地学
	学科専門科目	専門共通科目	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学	生命科学 環境科学
		創成型科目	食育コース		食育コース		食育コース	
		専門基礎科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目
専門コア科目	薬理学 スポーツ栄養学 医療フードコーディネイト演習 栄養疫学	分子栄養学 食品開発論	栄養疫学	分子栄養学 食品開発論 栄養疫学	スポーツ栄養学	スポーツ栄養学		
学際領域科目		起業論 知的財産概論 機器分析学概論	知的財産概論	食品工学概論 生物工学概論 機器分析学概論		生物工学概論 機器分析学概論		
総合化科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目		

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

生命科学部 バイオサイエンス学科 履修モデル

コース		食品産業分野	医療関連分野	化学工業分野	公務員	教員	大学院(細胞機能分野)	大学院(植物分野)	大学院(動物分野)
開講区分	概要	食品の安全性を目指した商品・技術開発のできる人材の育成	人間の健康に不可欠な医療品の技術開発や提供ができる人材の育成	化学物質や生物資源等の材料特性を理解し、これらの合成や加工技術の開発に取組める人材の育成	国および地方自治体が抱える食料・健康・環境問題を解決出来る人材の育成	急速に発展する生命工学を正しく理解し、次世代を担う中高生に的確に教授出来る人材の育成	大学院における高度な教育・研究ならびに企業における研究に適応出来る人材の育成		
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)			
	課題別科目	特別講義(一)			特別講義(一)				
	就職準備科目	ビジネスマナー キャリアデザイン	ビジネスマナー キャリアデザイン	ビジネスマナー キャリアデザイン					
外国語科目	学部共通科目	実用英語科目	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) 英会話(一) 英会話(二)	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二)	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二)	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二)
	初修外国語科目								
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目		科学と哲学			科学と哲学	科学と哲学	科学と哲学
	社会関係科目	経済入門		経済入門	経済入門 日本国憲法	日本国憲法			
	自然関係科目								
	創生型科目	起業論							
	専門基礎科目			数 学	数 学				
	専門コア科目	植物細胞工学 植物分子育種学 分子遺伝学 生物制御学 食品製造学 食品加工実習	ゲノム生物学 分子遺伝学 動物発生学 生物制御学 実験動物学 免疫学	植物分子育種学 分子遺伝学 ゲノム生物学 生物制御学 食品加工実習	植物分子育種学 動物発生学 ゲノム生物学 生物制御学 食品製造学	植物細胞工学 植物分子育種学 ゲノム生物学 分子遺伝学 動物発生学 実験動物学 生命科学技術論	植物分子育種学 分子遺伝学 ゲノム生物学 生物制御学 生命情報科学 アイソトープ利用論 先端生命科学概論 生命科学技術論	植物細胞工学 植物分子育種学 ゲノム生物学 生物制御学 生命情報科学 先端生命科学概論 生命科学技術論	分子遺伝学 動物発生学 ゲノム生物学 生命情報科学 実験動物学 先端生命科学概論 生命科学技術論
	学際領域科目	バイオプロセス工学概論	生物工学概論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 知的財産概論	生物工学概論	バイオプロセス工学概論 機器分析学概論 進化論	機器分析学概論	機器分析学概論 進化論	機器分析学概論

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

生命科学部 分子生命化学科 履修モデル

コース		研究職・大学院(化学系)	研究職・大学院(生物工学系)	一般企業総合、技術職	農業従事、公務員	
開講区分	概要	研究職を志望し、大学院への進学を目指す学生のうち、化学工学系の分野を特に指向するもの	研究職を志望し、大学院への進学を目指す学生のうち、生物工学系の分野を特に指向するもの	一般企業の総合、技術職での就職を目指すもの	国および地方自治体への就職または農業への就農を目指すもの	
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	
	課題別科目			国際ナショナル・スタディーズ(一) 国際ナショナル・スタディーズ(二)	特別講義(一) 特別講義(二)	
	就職準備科目			ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ	
外国語科目	学部共通科目	実用英語科目		ビジネス英語	英会話(一)	
	初修外国語科目	ドイツ語(一) ドイツ語(二)	ドイツ語(一) ドイツ語(二)	中国語(一)		
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目			科学と哲学	
		社会関係科目	日本国憲法	経済入門	経済入門	日本国憲法
		自然関係科目				地学
	創生型科目					
	学科専門科目	生物機能分子設計学 機器分析学 生化学 天然物合成化学 微生物利用学 化学生態学 機能性物質論	生物機能分子設計学 機器分析学 生物無機化学(二) 生化学 微生物利用学 化学生態学 機能性物質論	生化学 機器分析学 天然物合成化学 微生物利用学 機能性物質論	生化学 生物無機化学(二) 化学生態学	
学際領域科目	危険物取扱法 化学工学	ケミカルバイオロジー 化学工学	危険物取扱法 企業論	ケミカルバイオロジー 企業論		

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。



地域環境科学部 森林総合科学科 履修モデル

コース		民間				公務員・団体等	大学院進学	教職			
開講区分	概要	環境保全関連業	森林資源生産関連業	木材・住宅関連業	情報・流通関連業	専門・技術職	林学関連分野	農業(高校)	理科(中高)	技術(中学)	
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目						スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	
	就職準備科目	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー	ビジネスマナー				
外国語科目	学部共通科目	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語	英語リーディング	英語リーディング TOEIC 英語初級 TOEIC 英語中級 科学英語				
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	技術者倫理 文学概論	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 哲学	技術者倫理 哲学	技術者倫理	技術者倫理 科学の歴史			
		社会関係科目	地域と文化 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題 現代社会と経済	地域と文化 国際関係と社会問題 現代社会と経済	現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	日本国憲法 地域と文化 国際関係と社会問題	現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	日本国憲法	日本国憲法	日本国憲法
		自然関係科目	生物学 地学 統計学	生物学 地学 統計学	化学 物理学 統計学	生物学 地学 統計学	生物学 化学 物理学 地学 統計学	生物学 化学 物理学 地学 統計学		生物学 化学 物理学 地学	
	学科専門科目	専門コア科目	森林地形地質学 森林環境学 植生学 緑化学 樹木生理学 森林立地学 外書講読 実験・調査計画法 森林情報学 森林情報演習 野生生物管理学 森林水文学 治山工学 森林土壌学 森林土木実習	樹木生理学 森林立地学 森林機械学 森林計画学 森林情報学 森林情報演習 野生生物管理学 林木育種学 造林樹木学 森林昆虫学 森林土壌学 森林土木実習 森林作業システム学 きのこ学 測樹学	木材組織学 木材物理学 木材化学 木材保存化学 きのこ学 木質構造学 木材劣化生物学 木質材料学 建築設計製図法	森林文化論 森林計画学 森林環境経済学 森林情報学 森林情報演習 野生生物管理学 きのこ学 森林教育学 測樹学 山村コミュニティ論	全般にわたる履修が望まれる。	進学希望先に合わせて広く履修することが望まれる。  外書講読 実験・調査計画法	森林立地学 森林機械学 森林計画学 森林情報学 治山工学 樹病学 森林土壌学 森林土木実習 森林教育学 測樹学	森林地形地質学 植生学 樹木生理学 木材物理学 木材化学 野生生物管理学 森林水文学 林木育種学 森林昆虫学 きのこ学 木材劣化生物学	緑化学 木材組織学 木材保存化学 森林作業システム学 木質構造学 木質材料学 建築設計製図法
		専門実用科目									木材加工 金属加工 機械 電気 栽培
学際領域科目			木質バイオマス利用学	木質バイオマス利用学		木質バイオマス利用学			木質バイオマス利用学		

注1) 上記の履修モデルには、必修科目は含まれていません。

注2) 卒業要件単位数を満たすには、上記の履修モデル以外にも、必修・選択必修・選択科目を別途履修する必要があります。

地域環境科学部 生産環境工学科 履修モデル

コース		専門分野 (地域資源利用分野)	専門分野 (環境情報利用分野)	専門分野 (環境基盤創成分野)	専門分野 (機械システム創成分野)	公務員	進学	教員(農業)	教員(理科)	教員(技術)
開講 区分	概要	地域を人間の生活と自然、生物生産のための共存空間として捉え、土地や水などを地域資源として生態系に配慮しつつ有効利用・保全するための理論と技術を追究する。	生物生産のための自然環境や人間の生存環境について、衛星画像データを含めた広域情報と、土中水の動きや微気象などの局地情報の両面から解析・評価し、それらの情報の生産技術への工学的な利用・応用を考究する。	地域環境に配慮した空間づくりのために適した施設の建設を考えていく分野で、環境をふまえた構造物の設計や施工法、新素材の開発と利用技術、植物と共生できる施設のデザインなどをシステム工学的に考える。	農業生産における農作業と農産物の処理に関する機械やシステムを対象にしている。特に、エネルギーの有効利用等の環境に配慮した工学的技術の開発を目指している。	農業工学を専門とする公務員を目指す	農業土木と農業機械専門領域の学問を基軸にして、現場での技術開発と学術的な研究を両立できる人材の育成を目指す	農業科の教員を目指す	理科の教員を目指す	技術科の教員を目指す
総合 教育科目	全学 共通科目	スポーツ 関係科目						スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)
	課題別 科目	就職 準備 科目	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー	キャリアデザイン ビジネスマナー
外国語 科目	学部 共通科目	実用 英語 科目	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語	科学英語 TOEIC 英語初級 TOEIC 英語中級	科学英語	科学英語	科学英語
専門 教育科目	学部 基礎科目	人間 関係 科目	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理
		社会 関係 科目	地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題	現代社会と経済 国際関係と社会問題	地域と文化 現代社会と経済	地域と文化 現代社会と経済	現代社会と経済 日本国憲法	地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題	地域と文化 現代社会と経済 日本国憲法	地域と文化 現代社会と経済 日本国憲法
		自然 関係 科目	化学 統計学 物理学	生物学 統計学	統計学 物理学	生物学 統計学	化学 生物学 統計学 物理学 地学	化学 生物学 統計学 物理学 地学	化学 生物学 統計学 物理学 地学	化学 生物学 統計学 物理学 地学
	専 門 共 通 科 目	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環
	創 生 型 科 目	環境学習と体験活動	環境学習と体験活動	環境学習と体験活動	環境学習と体験活動			環境学習と体験活動	環境学習と体験活動	環境学習と体験活動
	専 門 コ ア 目	地域資源利用工学 地形地質学 地域環境保全学 海外農業開発工学 農村計画学 農地環境工学 農村環境工学 土地改良学 国土防災工学 海外農業開発工学 資源管理制度論 環境気象学 情報処理工学 河川工学 流域水文学 環境リモートセンシング工学 水利施設工学	地形地質学 地域環境保全学 海外農業開発工学 農村計画学 農地環境工学 農村環境工学 土地改良学 国土防災工学 海外農業開発工学 水利施設工学 環境リモートセンシング工学 計測・制御工学 設計製図	環境気象学 地形地質学 地域環境保全学 農村計画学 広域環境情報学 環境物理学 土木材材料学 鉄筋コンクリート工学 社会基盤工学 土木施工法 水利施設工学 環境土木学 河川工学 エネルギー工学 農業・建設機械学 国土防災工学 設計製図	海外農業開発工学 環境気象学 情報処理工学 広域環境情報学 環境物理学 機械力学 エネルギー工学 生産機械情報工学 電気・電子工学 食品工学 計測・制御工学 農業・建設機械学 生産加工流通工学 設計製図 バイオロボティクス	農村計画学 農地環境工学 土地改良学 資源管理制度論 環境気象学 流域水文学 環境リモートセンシング工学 情報処理工学 食品工学 土木材料学 鉄筋コンクリート工学 社会基盤工学 土木施工法 水利施設工学 機械力学 農業・建設機械学 農産加工流通工学	分野のコア科目	地域資源利用工学 地域環境保全学 農村計画学 農地環境工学 土地改良学 海外農業開発工学 資源管理制度論 水利施設工学 河川工学 エネルギー工学 生産機械情報工学 農業・建設機械学	地形地質学 環境気象学 情報処理工学 環境物理学 流域水文学 環境リモートセンシング工学	広域環境情報学 土木材料学 鉄筋コンクリート工学 社会基盤工学 機械力学 電気・電子工学 計測・制御工学 農業・建設機械学 農産加工流通工学 設計製図 バイオロボティクス
	専 門 実 用 科 目									
学 際 領 域 目	土と水の環境 作物栽培学	土と水の環境 作物栽培学	土と水の環境	土と水の環境 作物栽培学	土と水の環境 作物栽培学	土と水の環境 作物栽培学	土と水の環境 作物栽培学	作物栽培学	土と水の環境	
総 合 化 科 目										

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

地域環境科学部 造園科学科 履修モデル

コース		[生活科学(基礎造園)モデル]	[コンサルタント・設計系モデル]	[造園建設業系モデル]	[植物生産・園芸花卉・農業モデル]	[公務員系モデル]	[教員系モデル]	[海外の造園学習志望モデル]
開講区分	概要	学生生活をより充実させるために学習内容の選択に重点をおき、造園学の基本を学ぶ	就職(進学)も考慮し、特にコンサルタント・設計系を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に造園施工系を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に植物生産・園芸花卉・農業を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に公務員系を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に教職(理科・農業)を目指すためのモデル	就職(進学)も考慮し、特に海外の造園学をさらに学習するためのモデル
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)					スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	
	課題別科目	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四)	特別講義(一)～(四) インターナショナル・スタディーズ
	就職準備科目	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	キャリアデザイン インターンシップ ビジネスマナー	
外国語科目	学部共通科目		英語リーディング TOEIC 英語(初級) TOEIC 英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC 英語(初級) TOEIC 英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC 英語(初級) TOEIC 英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC 英語(初級) TOEIC 英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC 英語(初級) TOEIC 英語(中級) 科学英語	英語リーディング TOEIC 英語(初級) TOEIC 英語(中級) 科学英語
	初修外国語科目							**中国語(一) **中国語(二) **ドイツ語(一) **ドイツ語(二)
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目 技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 哲学 科学の歴史	技術者倫理 科学の歴史	技術者倫理 哲学	技術者倫理 哲学	技術者倫理 科学の歴史
	社会関係科目	現代社会と経済 地域と文化	現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	現代社会と経済 地域と文化	現代社会と経済 地域と文化	日本国憲法 現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	日本国憲法 現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題	現代社会と経済 地域と文化 国際関係と社会問題
	自然関係科目	生物学 地学	生物学 地学	生物学 化学 物理学	生物学 地学 統計学	生物学 地学	生物学 地学	生物学 地学
	専門共通科目	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環	地球環境と炭素循環
	創生型科目	環境学習と体験活動 源流文化学	環境学習と体験活動	環境学習と体験活動	環境学習と体験活動	環境学習と体験活動 源流文化学	環境学習と体験活動 源流文化学	
	専門基礎科目	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論 ランドスケープ作品論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論 ランドスケープ作品論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論 ランドスケープ作品論	緑の経済論 緑の経済論 ランドスケープ作品論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論 ランドスケープ作品論	緑の経済論 緑の経済論 ランドスケープ作品論	CAD及びGIS基礎演習 緑の経済論 ランドスケープ作品論
	専門コア科目		芝生論 樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基盤論 造園施設設計 景観論 ランドスケープデザイン論 自然保護論 観光計画論 公園マネージメント論 都市および農村計画 ランドスケープ政策論	芝生論 樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基盤論 造園施設設計 景観論 ランドスケープデザイン論 公園マネージメント論	芝生論 樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基盤論 景観論 自然保護論 観光計画論 都市および農村計画	芝生論 樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基盤論 造園施設設計 景観論 ランドスケープデザイン論 自然保護論 観光計画論 公園マネージメント論 都市および農村計画 ランドスケープ政策論	芝生論 樹木の保護と管理 緑地の生きもの 植栽基盤論 景観論 自然保護論 公園マネージメント論 都市および農村計画	景観論 ランドスケープデザイン論 観光計画論 公園マネージメント論 自然保護論 都市および農村計画
	学際領域科目	* 専門特化演習(一)都市緑化 * 専門特化演習(一)自然再生 * 専門特化演習(二)エンジニアリング	専門特化演習(一)環境デザイン * 専門特化演習(二)建築デザイン	専門特化演習(一)環境デザイン * 専門特化演習(二)エンジニアリング * 専門特化演習(二)伝統技法	* 専門特化演習(一)植物学 * 専門特化演習(一)都市緑化 * 専門特化演習(一)自然再生 * 専門特化演習(二)植栽基盤	* 専門特化演習(一)都市緑化 * 専門特化演習(一)自然再生 * 専門特化演習(二)エンジニアリング	専門特化演習(一)植物学 * 専門特化演習(二)伝統技法 * 専門特化演習(二)植栽基盤	専門特化演習(一)環境デザイン * 専門特化演習(二)伝統技法 * 専門特化演習(二)建築デザイン

その他 リメディアル

\* 1科目選択

\*\* 1ヶ国語選択

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

地域環境科学部 地域創成科学科 履修モデル

コース		大学院進学	公務員(一般)	公務員(技術系)	建設業	環境コンサル	農林・緑化	観光・レク	環境関連 NGO・NPO	
開講区分	概要	本コースは大学院進学を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは非技術系(行政職等)の公務員を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは技術系(土木職等)の公務員を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは建設系企業(建設会社、建設コンサルタント等)への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは、環境保全に関するコンサルティングを行う団体・企業への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは農林・緑化事業に係わる団体・企業への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは観光・レクリエーション業への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは環境関連 NGO や NPO への就職を目指す学生に勧めるコースである。	
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)					スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)	スポーツ・レクリエーション(一)	
	課題別科目	就職準備科目	インターンシップ	インターンシップ	ビジネスマナー	インターンシップ	インターンシップ	ビジネスマナー		
外国語科目	学部共通科目	実用英語科目	科学英語	科学英語	科学英語	TOEIC 英語初級 TOEIC 英語中級	科学英語	科学英語	TOEIC 英語初級 TOEIC 英語中級 科学英語	
	初修外国語科目							中国語(一)/ドイツ語(一) 中国語(二)/ドイツ語(二)		
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	科学の歴史 技術者倫理	文学概論 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	科学の歴史 技術者倫理	文学概論 技術者倫理	
		社会関係科目	地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題	日本国憲法 地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題	日本国憲法 現代社会と経済 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題 現代社会と経済	地域と文化 国際関係と社会問題	地域と文化 国際関係と社会問題	日本国憲法 地域と文化 現代社会と経済 国際関係と社会問題	
		自然関係科目	地学 統計学	化学 地学 統計学	地学 物理学 統計学	地学 物理学 統計学	生物学 化学 統計学	生物学 化学 統計学	地学 統計学	
	専門共通科目									
	創成型科目							源流文化学	源流文化学	
	専門基礎科目	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理		野生動物資源の管理	野生動物資源の管理			
	学科専門科目	専門コア科目	群集生態学 植栽技術論 農域植生学 農域環境政策学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥料学 環境修復論 農地保全学 河川水文学 農と伝統文化 文化産業・観光計画学	植栽技術論 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 農地保全学 文化産業・観光計画学 農と健康	樹木医学概論 植栽技術論 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 環境修復論 農地保全学 河川水文学 文化産業・観光計画学 農と健康	樹木医学概論 植栽技術論 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥料学 環境修復論 農地保全学 河川水文学 文化産業・観光計画学	樹木医学概論 群集生態学 植栽技術論 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥料学 環境修復論 農地保全学 河川水文学 農と伝統文化	樹木医学概論 群集生態学 植栽技術論 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥料学 環境修復論 農地保全学 河川水文学 農と伝統文化	農域植生学 地域環境政策学 農地保全学 文化産業・観光計画学 農と伝統文化 農と健康	群集生態学 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 環境修復論 農地保全学 文化産業・観光計画学 農と伝統文化 農と健康
		総合化科目		農山漁村インターンシップ			農山漁村インターンシップ	農山漁村インターンシップ	農山漁村インターンシップ	農山漁村インターンシップ

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

国際食料情報学部 国際農業開発学科 履修モデル

コース		ODA,NGO など国際協力機関	民間農業関連産業	農業経営者	公務員	教員		進学	
開講区分	概要	国際協力に携わる人材の育成 (ODA, NGO, 国際機関など)	食品・農業・環境関連産業に携わる人材の育成 (食品系、農業系、環境系の民間会社)	農業従事者の育成 (国内外新規就農者, 農業後継者)	国家公務員, 地方公務員	中学・高校教員 (理科・農業) の育成		大学院への進学	
						農業	理科		
総合教育科目	全学共通科目								
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-) (二)	スポーツ・レクリエーション(-)	スポーツ・レクリエーション(-) (二)	スポーツ・レクリエーション(-) (二)	スポーツ・レクリエーション(-)	
	課題別科目	インターナショナル・スタディーズ(-) (二) 特別講義 (-) ~ (四)	特別講義 (-) ~ (四)	特別講義 (-) ~ (四)	インターナショナル・スタディーズ(-) (二) 特別講義 (-) ~ (四)		インターナショナル・スタディーズ(-)	特別講義 (-) ~ (四)	
外国語科目	就職準備科目		全科目						
	学部共通科目	実用英語科目	全科目	TOEIC 英語 (-) (二) + 2 科目	TOEIC 英語 (-) (二) + 2 科目	TOEIC 英語 (-) (二) + 2 科目	TOEIC 英語 (-) (二) + 2 科目	TOEIC 英語 (-) (二) + 2 科目	
専門教育科目	学科基礎科目	初修外国語科目	初修外国語関係の中から 3 科目	スペイン語 (-) ~ (四) / フランス語 (-) ~ (四) / 中国語 (-) ~ (四) のいずれか 1 科目		スペイン語 (-) ~ (四) / フランス語 (-) ~ (四) / 中国語 (-) ~ (四) のいずれか 1 科目	スペイン語 (-) ~ (四) / フランス語 (-) ~ (四) / 中国語 (-) ~ (四) のいずれか 1 科目	スペイン語 (-) ~ (四) / フランス語 (-) ~ (四) / 中国語 (-) ~ (四) のいずれか 1 科目	
		人間関係科目	環境倫理 文化人類学 哲学	日本史 文化人類学	環境倫理 日本史	環境倫理 文化人類学	日本史 文化人類学	哲学 文化人類学	環境倫理 日本史
		社会関係科目	政治のしくみ 地理学	法学入門 政治のしくみ	法学入門 地理学	日本国憲法 法学入門	日本国憲法 地理学	日本国憲法 地理学	地理学 政治のしくみ
	自然関係科目	生物学 化学	化学 数学	生物学 数学	生物学 物理学 化学 地学	生物学 物理学 化学 地学	生物学 物理学 化学 地学	生物学 化学	
	専門共通科目	栽培学入門 経営学入門 畜産学入門 経済学入門	栽培学入門 畜産学入門	栽培学入門 経済学入門 畜産学入門	栽培学入門 統計基礎 経営学入門	畜産学入門 栽培学入門 統計基礎	栽培学入門 統計基礎	統計基礎 栽培学入門 経済学入門 経営学入門	
	創生型科目			地域再生・活性化		地域再生・活性化		地域再生・活性化	
	専門コア科目		熱帯食用作物学 熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物育種学	熱帯食用作物学 熱帯野菜学 作物育種学	熱帯食用作物学 熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物育種学	作物育種学	熱帯食用作物学 熱帯野菜学 熱帯果樹学	作物育種学	熱帯食用作物学 熱帯野菜学 熱帯果樹学
			作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯植物生態学	食料生産環境学 熱帯農業微生物学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 食料生産環境学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学	作物病理学 作物害虫学 野生動物管理学 熱帯農業微生物学 熱帯昆虫生態学 熱帯植物生態学
			国際農業経済論 比較農業論	国際農業経済論 比較農業論	国際農業経済論 比較農業論	国際農業経済論 比較農業論	国際農業経済論 比較農業論	国際農業経済論 比較農業論	国際農業経済論 比較農業論
	総合化科目		国際農業協力論 農業普及論			農業普及論	国際農業協力論 農業普及論		国際農業協力論 農業普及論
		ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー 海外農業実習 (-) (二) (三)	農村開発協力論セミナー フィールド調査	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー 海外農業実習 (-) (二) (三)	農学専門実験 農村開発協力論セミナー フィールド調査	農学専門実験 農村開発協力論セミナー ファームステイ フィールド調査 海外農業実習 (-) (二) (三)	農学専門実験 農村開発協力論セミナー フィールド調査	農学専門実験 農村開発協力論セミナー フィールド調査	

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

国際食料情報学部 食料環境経済学科 履修モデル

コース		民間企業等	公務員・団体等	教員	進学	
開講区分	概要	農業法人、食品加工業、小売業、流通業、外食などの分野に従事することを希望する学生、または、企業の環境対応に携わることが希望する学生を対象。	国家公務員および地方公務員、JA、NPOにおいて農業振興、地域活性化、環境保全、食育に携わることが希望する学生を対象。	農業・公民・地歴教員となり農業教育および地域の人材の育成を職業として希望する学生を対象。	大学院進学を希望する学生を対象。	
総合教育科目	全学共通科目					
	スポーツ関係科目					
	課題別科目					
	就職準備科目	ビジネスマナー など	ビジネスマナー など	キャリアデザイン など	キャリアデザイン など	
外国語科目	学部共通科目	TOEIC 英語 (一) TOEIC 英語 (二) ビジネス英語 など	英語リーディング (一) 英語リーディング (二) TOEIC 英語 (一) TOEIC 英語 (二) など	英語リーディング (一) 英語リーディング (二) など	英語リーディング (一) 英語リーディング (二) TOEIC 英語 (一) TOEIC 英語 (二) など	
	初修外国語科目	中国語 (一) 中国語 (二) など				
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	環境倫理 日本史 など	環境倫理 日本史 など	哲学 日本史 環境倫理 など	哲学 日本史 環境倫理 など
		社会関係科目	法学入門 地理学 など	法学入門 地理学 日本国憲法 など	日本国憲法 法学入門 地理学 など	法学入門 地理学 など
		自然関係科目	数学	数学	数学	数学
	学科専門科目	専門共通科目	経営学入門 経済学入門 など		経済学入門 統計基礎 など	経済学入門 統計基礎 など
		創成型科目	地域再生・活性化 など	地域再生・活性化 など		
		専門基礎科目	食品マーケティング論 食品産業論 農業経営学 国際フードシステム論 食料政策論 農業貿易論 食品マーケティング戦略論 など	農業経営学 農業政策論 環境政策論 環境社会学 公共経済学 食料政策論 地域計画論 など	国際農業経済論 農業経営学 農業政策論 資源経済学 都市経済論 国際フードシステム論 地域計画論 など	食品マーケティング論 国際農業経済論 農業経営学 農業政策論 環境社会学 都市経済論 公共経済学 など
		専門コア科目	経済地理学 グローバル経済論 企業と会計 社会調査 新エネルギー論 農産物市場論 食品関係法 など	行政学 農村社会学 財政学 社会調査 新エネルギー論 環境経済評価 協同組合論 など	環境経済史 農業史 アメリカ・EU 農業経済論 農村社会学 新エネルギー論 環境経済評価 アジア農業経済論 など	ミクロ経済学 (二) 農業史 農村社会学 経済経営のための数学 社会調査 計量経済学 経済統計論 など

注 1) 上記の履修モデルには、総合教育科目における導入科目、課題別科目、スポーツ関係科目、演習科目、リメディアル教育科目は含まれていません。

注 2) 卒業要件単位数を満たすには、上記の履修モデル以外にも必修・選択必修・選択科目を履修する必要があります。

注 3) 教員については、所定の教職科目を履修する必要があります。

国際食料情報学部 アグリビジネス学科 履修モデル

コース		ファームマネジメント	フードビジネス	情報ビジネス	環境ビジネス	国際アグリビジネス	公務員・公共サービス	教員 農業	大学院・進学	
科目 区分	概要	農家、農業法人・企業などにおいて、農業経営に携わる人材の育成。	食品加工・流通企業において経営・財務・マーケティングに携わる人材の育成。	バイオビジネスにおける経営情報システムの構築・管理、あるいは情報関連ビジネスに携わる人材の育成。	バイオビジネスにおける環境への配慮・対応、あるいは環境ビジネスに携わる人材の育成。	国際的な農業・食料関連ビジネスに携わる人材の育成。	公務員や農協など、地域づくりに携わる人材の育成。	高等学校（農業）の教員を目指すコース。	大学院への進学を目指すコース。	
総合教育科目	全学共通科目	スポーツレクリエーション(二)						スポーツレクリエーション(二)		
	課題別科目					国際スタディーズ(二)			国際スタディーズ(二)	
	就職準備科目	インターンシップ ビジネスマナー	インターンシップ ビジネスマナー	インターンシップ ビジネスマナー	インターンシップ ビジネスマナー	インターンシップ ビジネスマナー	インターンシップ キャリアデザイン	インターンシップ キャリアデザイン	インターンシップ キャリアデザイン	
外国語科目	学部共通科目	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	英語リーディング(一) 英語リーディング(二) TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) ビジネス英語	英語リーディング(一) 英語リーディング(二) TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二)	英語リーディング(一) 英語リーディング(二) TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) ビジネス英語	英語リーディング(一) 英語リーディング(二) TOEIC 英語(一) TOEIC 英語(二) 英会話(一) 英会話(二) 科学英語 英語論文執筆法	
	初修外国語科目									
学科学基礎科目	人間関係科目	文化人類学 など	文化人類学 など	哲学 など	環境倫理 など	文化人類学 など	日本史 など	文化人類学 など	哲学 など	
	社会関係科目	法学入門 など	法学入門 など	地理学 など	法学入門 など	地理学 など	日本国憲法 など	日本国憲法 など	法学入門 など	
	自然関係科目	生物学 など	生物学 など	数学 など	化学 など	生物学 など	生物学 など	生物学 など	数学 など	
専門教育科目	専門共通科目	栽培学入門 畜産学入門 経営学入門 経済学入門 統計基礎	栽培学入門 経営学入門 統計基礎	経営学入門 統計基礎	経営学入門 統計基礎	栽培学入門 経営学入門 経済学入門	栽培学入門 畜産学入門 経営学入門 経済学入門	栽培学入門 畜産学入門 統計基礎	経営学入門 経済学入門 統計基礎	
	創成型科目	地域再生・活性化			地域再生・活性化		地域再生・活性化			
	専門基礎科目	農業マネジメント論		バイオビジネス統計学(一)	バイオビジネス統計学(一)	農業マネジメント論	農業マネジメント論	農業マネジメント論	農業マネジメント論 バイオビジネス統計学(一)	
	専門コア科目	バイオビジネス経営学演習 バイオビジネス会計学演習	バイオビジネス経営学演習 バイオビジネス会計学演習	バイオビジネス経営学演習 バイオビジネス会計学演習	バイオビジネス経営学演習 バイオビジネス会計学演習	バイオビジネス経営学演習 バイオビジネス会計学演習	バイオビジネス経営学演習 バイオビジネス会計学演習		バイオビジネス経営学演習	経営・情報分野、マーケティング戦略分野など各人の志向に合わせて、必要な専門科目を選択して履修する
		地域農業活性化論 バイオビジネス経営分析論 バイオビジネスと地域開発	バイオビジネス経営分析論 バイオビジネス法	バイオビジネスと地域開発 バイオビジネス法	バイオビジネスと環境 バイオビジネスと地域開発	バイオビジネス経営分析論 バイオビジネスと地域開発	地域農業活性化論 バイオビジネスと地域開発	地域農業活性化論 バイオビジネス経営分析論 バイオビジネス法	地域農業活性化論 バイオビジネス経営分析論 バイオビジネス法	
		商品企画演習 オペレーションズリサーチ演習	商品企画演習 バイオビジネス経営情報論演習 オペレーションズリサーチ演習	バイオビジネス経営情報論演習 バイオビジネス統計学演習 オペレーションズリサーチ演習 基本情報処理演習	商品企画演習 バイオビジネス経営情報論演習 バイオビジネス統計学演習 オペレーションズリサーチ演習	商品企画演習 バイオビジネス経営情報論演習 オペレーションズリサーチ演習	バイオビジネス経営情報論演習 オペレーションズリサーチ演習		バイオビジネス経営情報論演習	
	バイオビジネスマーケティング論(二) マーケティングリサーチ 情報ネットワーク論 バイオビジネス情報システム論	フードビジネス論 バイオビジネスマーケティング論(二) マーケティングリサーチ 情報ネットワーク論	オペレーションズ・リサーチ バイオビジネス統計学(二) 情報ネットワーク論 プログラム言語 バイオビジネス情報システム論 データベース論 マルチメディア論	バイオビジネス統計学(二) 情報ネットワーク論 データベース論	フードビジネス論 バイオビジネスマーケティング論(二) マーケティングリサーチ	情報ネットワーク論 バイオビジネス情報システム論	フードビジネス論 バイオビジネスマーケティング論(二) マーケティングリサーチ オペレーションズ・リサーチ	フードビジネス論 バイオビジネスマーケティング論(二) マーケティングリサーチ オペレーションズ・リサーチ		
専門実用科目							地誌 情報と職業			
総合化科目	バイオビジネス実地研修(二)	バイオビジネス実地研修(二)	バイオビジネス実地研修(二)	バイオビジネス実地研修(二)	バイオビジネス実地研修(二)	バイオビジネス実地研修(二)	バイオビジネス実地研修(二)			

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

国際食料情報学部 国際食農科学科 履修モデル

コース		食農振興支援者	食農教育・文化発信者	食農事業実践者	
開講区分	概要	行政、JA、NPO、6次産業化プロデューサーなどに携わることが希望する学生	教員(農業)、学芸員、NGO、マスメディア、出版などに携わることが希望する学生	農業経営、食農起業、フードスペシャリスト、食品産業などに携わることが希望する学生	
総合教育科目	全学共通科目		スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二)		
	スポーツ関係科目				
	課題別科目 就職準備科目				
外国語科目	学部共通科目	科学英語 ビジネス英語	英会話(一) 英会話(二)	英語リーディング(一) 英語リーディング(二)	
	初修外国語科目				
専門教育科目	学科基礎科目	人間関係科目	哲学 環境倫理	哲学 環境倫理 日本史 文化人類学	
		社会関係科目	法学入門 日本国憲法	法学入門 日本国憲法 日本国憲法 地理学	
		自然関係科目	生物学 数学	生物学 数学 生物学 化学	
	学科専門科目	専門共通科目	経営学入門	経営学入門	経営学入門 栽培学入門
		創成型科目	地域再生・活性化		地域再生・活性化
		専門基礎科目		民俗学	
		専門コア科目	フードスペシャリスト論 グローバル化と食品流通 調理学 食農と協同組合 食品機能学 フードコーディネーター論 行動経済学 農村女性論 食農果樹学	食育と食生活論 食農文化論 持続的農業論 食農果樹学 農業生産と気象 学習と参加の理論 比較食文化史 食農とメディア	フードスペシャリスト論 グローバル化と食品流通 調理学 持続的農業論 食品機能学 食農果樹学 フードコーディネーター論 比較食文化史
	総合化科目	調理学実習 食品機能学実験	食農文化演習	調理学実習 食品機能学実験	

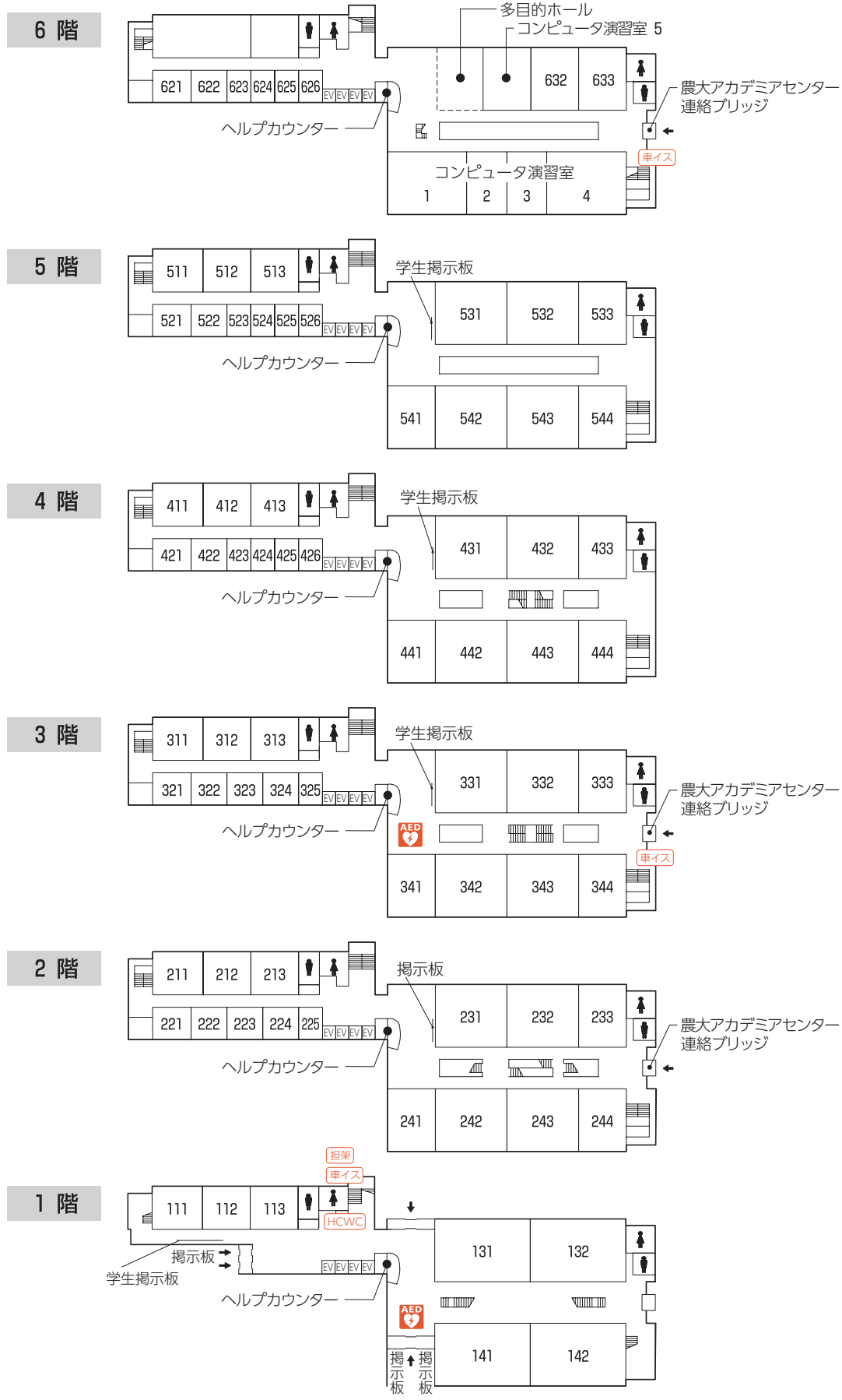
注1) 必修科目は含んでいません。ただし、選択必修科目は含まれています。

注2) 教員については、所定の教職科目を履修する必要があります。

注3) フードスペシャリスト、食の6次産業化プロデューサーの資格取得を目指す場合は、所定の科目を履修する必要があります。

# 10 1号館 フロアマップ

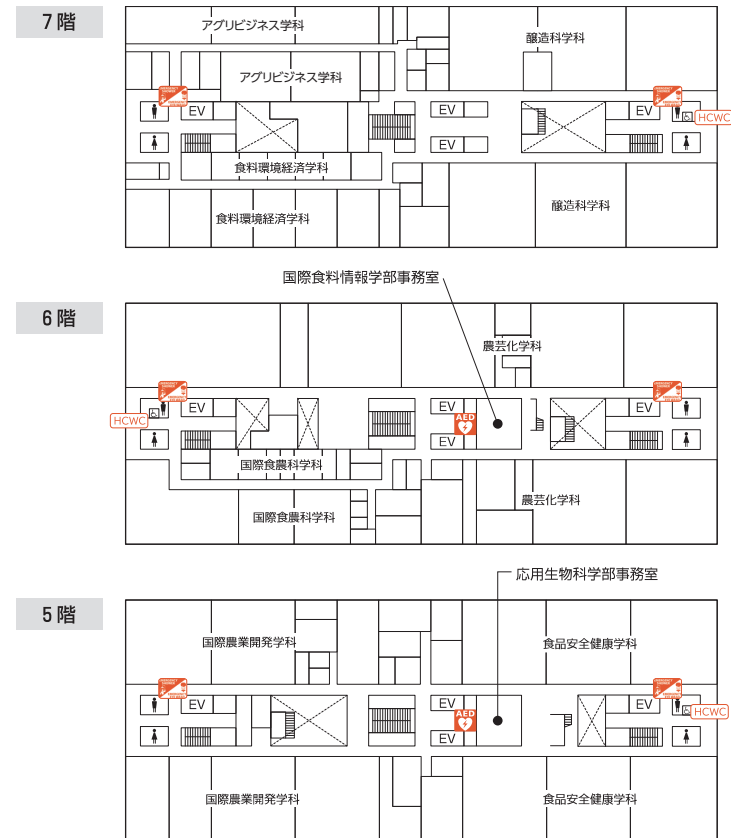
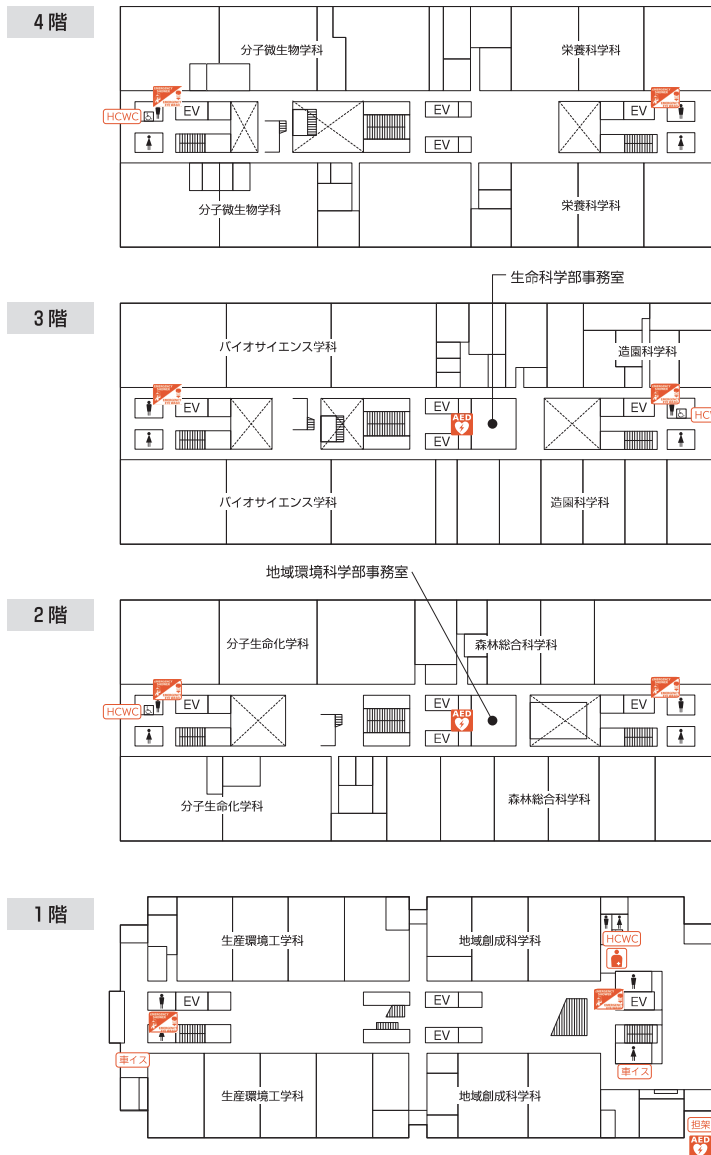
-  自動体外式除細動器
-  多目的トイレ
-  オストメイト
-  車イス
-  担架
-  緊急シャワー・洗眼器



# 11 農大サイエンスポート フロアマップ・学部事務室連絡先

※入退館には学生証が必要です。必ず学生証を携帯ください。

-  自動体外式除細動器
-  多目的トイレ
-  オストメイト
-  車イス
-  担架
-  緊急シャワー・洗眼器



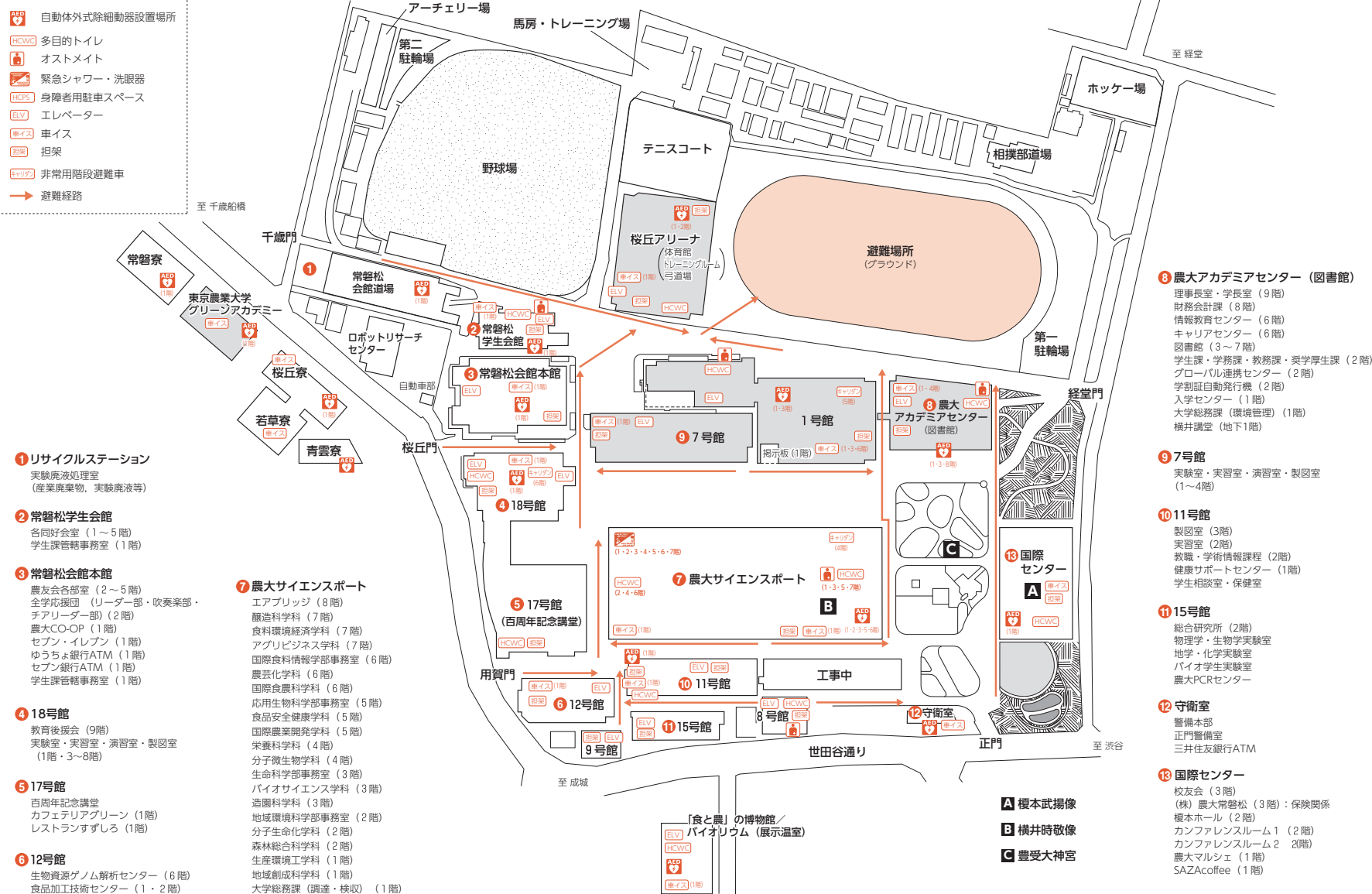
## 学部事務室連絡先

階	学部事務室	電話番号	メールアドレス
2階	地域環境科学部	03-5477-2911	chiiki@nodai.ac.jp
3階	生命科学部	03-5477-2912	seimei@nodai.ac.jp
5階	応用生物科学部	03-5477-2917	ousei@nodai.ac.jp
6階	国際食料情報学部	03-5477-2918	kokusai@nodai.ac.jp

# 12 キャンパスマップ (世田谷) (2026年4月1日現在)

## 校舎等配置図

- 自動体外式除細動器設置場所
- 多目的トイレ
- オストメイト
- 緊急シャワー・洗眼器
- 身障者用駐車スペース
- エレベーター
- 車イス
- 担架
- 非常用階段避難車
- 避難経路



- 1 リサイクルステーション**  
実験廃液処理室  
(産業廃棄物、実験廃液等)
- 2 常盤松学生会館**  
各同好会室 (1~5階)  
学生課管轄事務室 (1階)
- 3 常盤松会館本館**  
農友会各部室 (2~5階)  
全学応援団 (リーダー部・吹奏楽部・  
チアリーダー部) (2階)  
農大CO-OP (1階)  
セブン・イレブン (1階)  
ゆうちょ銀行ATM (1階)  
セブン銀行ATM (1階)  
学生課管轄事務室 (1階)
- 4 18号館**  
教育後援会 (9階)  
実験室・実習室・演習室・製図室  
(1階・3~8階)
- 5 17号館**  
百周年記念講堂  
カフェテリアグリーン (1階)  
レストランすずしろ (1階)
- 6 12号館**  
生物資源ゲノム解析センター (6階)  
食品加工技術センター (1・2階)

- 7 農大サイエンスポート**  
エアブリッジ (8階)  
醸造科学科 (7階)  
食料環境経済学科 (7階)  
アグリビジネス学科 (7階)  
国際食料情報学部事務室 (6階)  
農芸化学科 (6階)  
国際食農科学科 (6階)  
応用生物科学部事務室 (5階)  
食品安全健康学科 (5階)  
国際農業開発学科 (5階)  
栄養科学科 (4階)  
分子微生物学科 (4階)  
生命科学部事務室 (3階)  
バイオサイエンス学科 (3階)  
造園科学科 (3階)  
地域環境科学部事務室 (2階)  
分子生命化学科 (2階)  
森林総合科学科 (2階)  
生産環境工学科 (1階)  
地域創成科学科 (1階)  
大学総務課 (調達・検収) (1階)

- 8 農大アカデミアセンター (図書館)**  
理事長室・学長室 (9階)  
財務会計課 (8階)  
情報教育センター (6階)  
キャリアセンター (6階)  
図書館 (3~7階)  
学生課・学務課・教務課・奨学生生課 (2階)  
グローバル連携センター (2階)  
学割証自動発行機 (2階)  
入学センター (1階)  
大学総務課 (環境管理) (1階)  
横井講堂 (地下1階)
- 9 7号館**  
実験室・実習室・演習室・製図室  
(1~4階)
- 10 11号館**  
製図室 (3階)  
実習室 (2階)  
教職・学術情報課程 (2階)  
健康サポートセンター (1階)  
学生相談室・保健室
- 11 15号館**  
総合研究所 (2階)  
物理学・生物学実験室  
地学・化学実験室  
バイオ学生実験室  
農大PCRセンター
- 12 守衛室**  
警備本部  
正門警備室  
三井住友銀行ATM
- 13 国際センター**  
校友会 (3階)  
(株) 農大常盤松 (3階)：保険関係  
根本ホール (2階)  
カンファレンスルーム1 (2階)  
カンファレンスルーム2 (2階)  
農大マルシェ (1階)  
SAZAcoffee (1階)

- A 根本武揚像**
- B 横井時敬像**
- C 豊受大神宮**

## 13 実験・実習・演習室短縮名称

建屋	名称	短縮名	建屋	名称	短縮名	
1号館	6F コンピュータ演習室 1	コンピ 1	17号館	百周年記念講堂	百周年	
	6F コンピュータ演習室 2	コンピ 2	18号館	1F 製図・演習室	1811	
	6F コンピュータ演習室 3	コンピ 3		3F 生物系実験室	1831	
	6F コンピュータ演習室 4	コンピ 4		4F 化学系実験室	1841	1841
	6F コンピュータ演習室 5	コンピ 5		化学系実験室	1842	
7号館	工作室	7 工作室		5F 化学系実験室	1851	1851
	共通実験室	7 共通 E		化学系実験室	1852	
	化学第四製図室	7 共通 D		6F 調理第一実習室	1861	
	森林総合科学科実験実習室	7 森林 EP		調理第二実習室	1862	
	地域創成科学科実験実習室	7 創成 E		理化学第一実験室	1871	
11号館	第一製図室	11 第一 D		理化学第二実験室	1872	
	第二製図室	11 第二 D	給食経営管理実習	1863・1864		
	景観建設・技術分野演習室	11 造園工 P	8F 生物系実験室	1881	1881	
	植物系実験室	11 植物系 E	生物系実験	1882		
	教職模擬教室	11 教職模擬	学生実験室	1883	1883	
	栄養教育実習室	11 栄養 P	学生実験室	1884		
	臨床栄養学実習室	11 臨床 P	その他	桜丘アリーナ	アリーナ	
12号館	食品加工技術センター	11 食品加工		ロボット農業リサーチセンター	RARC	
15号館	物理学・生物学実験室	15 物理学 E		森林総合科学科演習室	森林演習室	
	地学・化学実験室	15 地学 E				